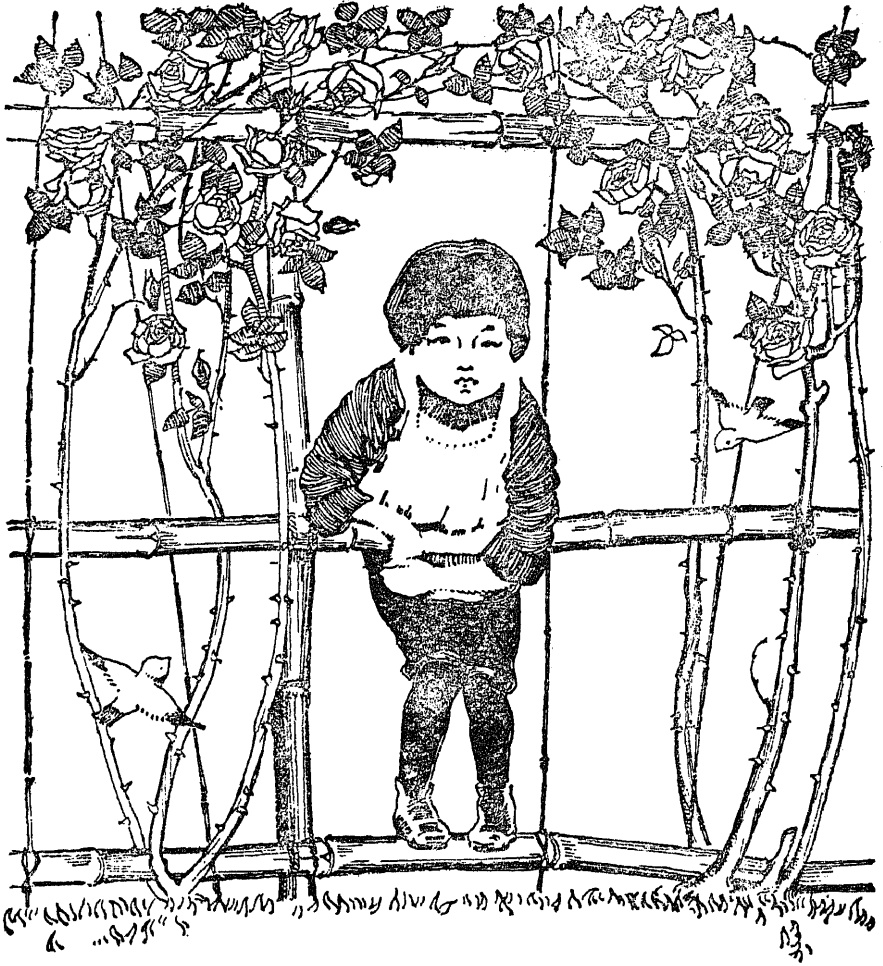


育教の兒幼

號 十 第 號 月 十 卷 一 十 三 第



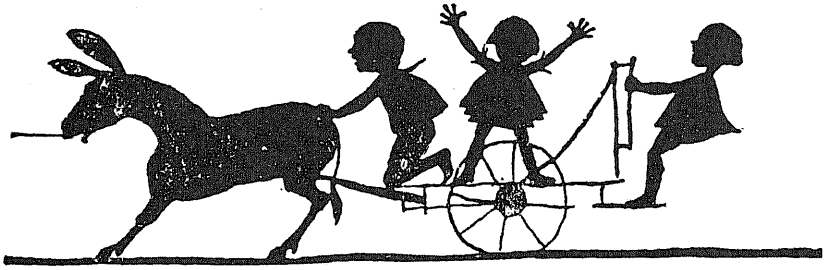
內 校 學 範 師 等 高 子 女 京 東
會 協 園 稚 幼 本 日



號 十 第 育 教 の 兒 幼 卷 一 十 三 第

—(次 目)—

口 繪	動物の汽車、夏季學園	
秋 晴	(卷頭言)	
保姆養成機關について	堀 七 藏	(二)
進出すべき幼稚園保姆の領野	松 山 政 治	(九)
玩具中心教育の提唱	高 市 次 郎	(三)
ヘンリストリート セットルメント	宇 佐 美 敬	(四)
幼兒の爲に歌を作りて	葛 原 し げ る	(四)
永觀堂幼稚園夏期林間學園の概況	永 觀 堂 幼 稚 園	(四)
夏 季 學 園	日 本 大 學 幼 稚 園	(五)
何かが眞違つて居やしませんか	聲 婆	(六)
室内掃除法	和 田 實	(六)
動物と水族館	甲 南 幼 稚 園	(七)
或 る 日	昭 和 幼 稚 園	(七)
雜 錄	幼稚園の設備に關する要項、保姆養成機關向上の建議	(七)



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 吉岡 郷甫
主幹 倉橋 惣三

東京女子高等師範學校長
東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ豫出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼児教育ニ關スル研究及ビ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催

- 一、雜誌發行（毎月一回）
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應ジテ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルベシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席員會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ

幼兒教育講演會

一、期日 來る十一月七日(土曜日)正二時より

一、場所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

一、講師及び演題

開會挨拶

——名古屋の大會のお話——

主幹 倉橋 惣三氏

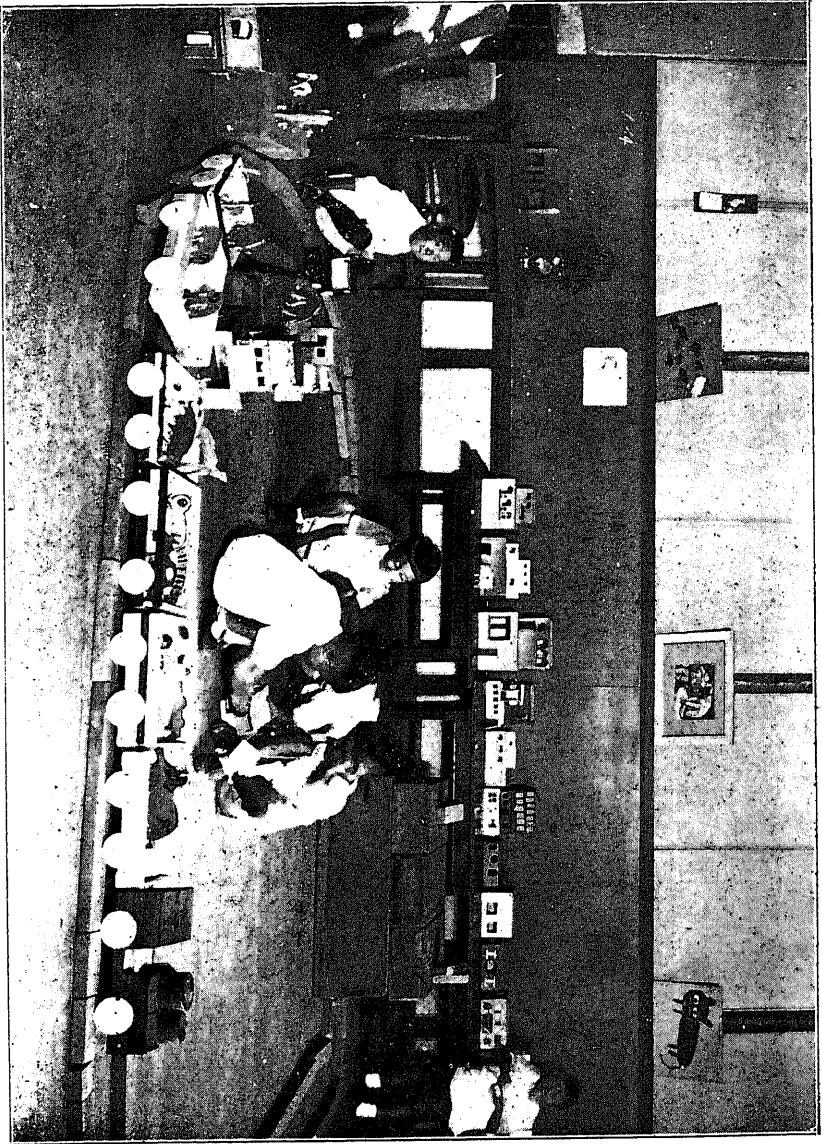
都市幼稚園に於ける觀察に就きて

東京市視學 岡崎 常太郎氏

多數お誘ひ合せ御來會下さい(時間を正確にお集り下さい)

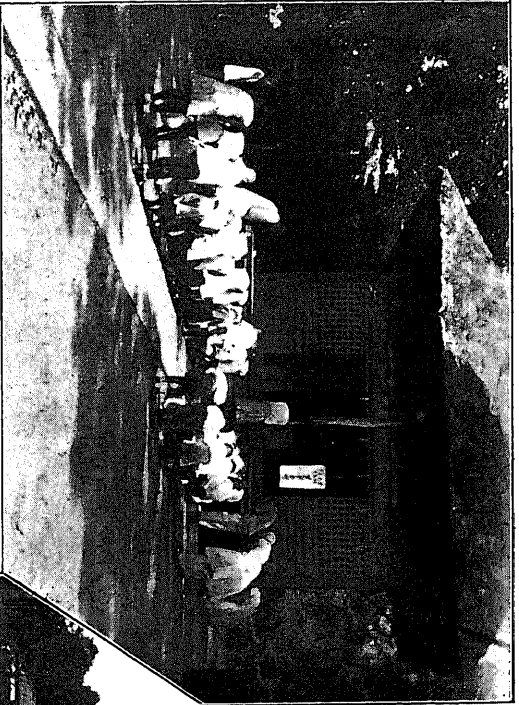
十月十五日

日本幼稚園協會



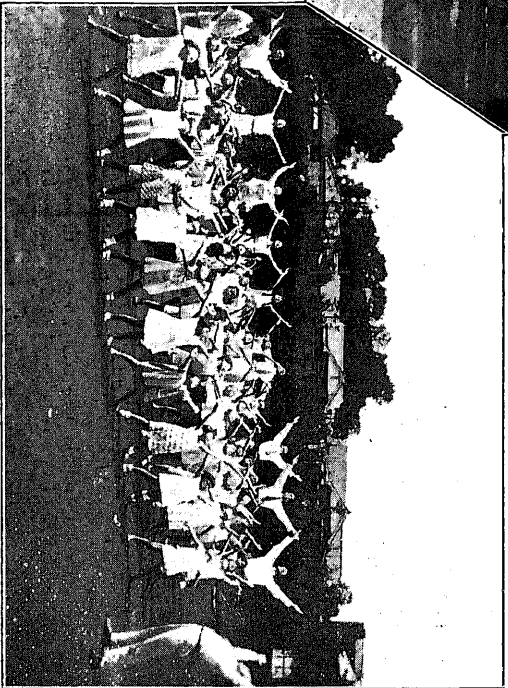
動物の汽車

(東京女子高等師範學校附屬幼稚園)



神 社 参 拜

ラ ガ カ 體 操



夏 季 學 園

(日本大學幼稚園)

幼 兒 の 教 育

昭 和 六 年 十 月

秋 晴

秋の好晴が來た。子ども達のために恵まれた戶外の季節だ。一日半日の日光も無駄にしてはならない。

春の日はなごやかに、秋の日は堅い。春の草は柔かく、秋の草は粗い。春に迎へた子ども達に、自然が、もうそろそろ此の位の訓練を與へやうとしてゐるのか。

秋の氣は澄み、空は高い。子ども達をして一ぱいに胸を張らせよ。子ども達をして高々と上を仰がしめよ。

春の花蔭。夏の葉蔭。秋は朗々として大空の下。歌の聲もあのづから調子を張り、舞ふ足もあのづから強く蹈む。秋の自然が其の教育案に一味の硬性を加へんとしてゐるのか。

とにかく、貴重な秋晴だ。一年三百六十五日、晴日幾日かある。今や、その日、そのシーズンだ。

保姆養成機關について

東京女高師附小 主事 堀 七 藏

一

さきに新聞紙上に現はれたる文部省學制改革案によれば、幼稚園は現行通り三ヶ年とすることになつてゐる。しかし幼稚園保姆の養成に關しては一言も觸れてゐない。現今のやうに女子師範學校卒業者は當然保姆の資格を無試験檢定で得るか否かも明白ではない。只幼稚園令及び同施行規則を改正するものとも思はれないからその儘となるものか。しかし高等學校四ヶ年の上に師範學校が三ヶ年修業年限として設けられるならば、その女子師範卒業者は無試験檢定によつて保姆の免許狀が附與せられることになるであらうと想像せられるのみである。

今回の學制改革案が如何に落着くか。文政審議會にて審議せられることが確實であるとしても、その結果が如何になるか不明である。しかしこの際保姆養成機關に關しても文部省當局並に文政審議會會員は勿論、世間の輿論を喚起することは甚だ重要なことである。この故に吾人が保姆養成機關についての意

見を發表することも必ずしも無益とは考へられない。

一一

今回の學制改革案に保姆の養成に關する事項が少しも現はれてないことを憤慨する必要はない。學制改革案はホンの大綱を擧げたまでで、その細目は勿論十分考慮せられる筈である。その際に保姆養成機關に關する考慮を缺くならば、そは甚だ手落である。統計によれば昭和四年三月末小學校教員は官立九四人、公立二二八一九三人、私立九〇一人で、合計二二九一八八人、約二十三萬人あるに對し、幼稚園保姆は官立私立を合計して僅に三九一九人である。故に小學校教員の僅かに一・七%にすぎない。

また中學校教員は官公立一〇七〇六人、私立二六七一人で、合計一三三七七人。高等女學校教員は官公立八九六五人、私立四〇八五人、合計一三〇五〇人である。實科高等女學校教員は官公立一〇七六人、私立一九五人、合計一二七一人である。更に師範學校教員二八二七人、總計中等學校教員が三〇五二五人であるから、幼稚園保姆の八倍以上の實數である。而して年々中等教員檢定合格者は學科別人員では無試験七四二八人、試験八一九人で合計八二四七人であり、實人員では無試験一一五三人、檢定合格者が六八四一人である。故に年々中等教員となるもの七千人以上になるのである。従つて學制改革案に於て小學校教員養成が問題となり、中等教員養成が考慮せられるのは蓋し當然である。而して幼稚園保姆

養成が問題とならずとも不平を並べることは出来ないのである。

三

師範學校は高等學校四年の上に修業年限三ヶ年として設けられる今度の學制案は誠に面白いものであるから、吾人は相當敬意を表して然るべきであると考へる。只女子師範學校に於ては、從來の如く國民學校教師を養成するだけの單一なコースではなく、必ず保姆養成のコースを特設することを主張せねばならぬ。現在の如く小學校教員として教育を施したものに、直ちに保姆の免許狀を下附するが如きことは甚だ適切ではない。小學校低學年並に幼稚園保姆として必要なる教育を特に施し、また幼稚園を凡ての女子師範學校に附設せしめ、その教育實習を十分行はしめねばならぬ。現在のやうに單に保育に關しての講義を僅に聽講させただけで保姆の資格を與へるなどは、保姆として役立たず十分なる活動が出来ないのである。只小學校教員を長年月行つてゐて恩給にありつき、小學校教員をやめたから老後の慰にといつた形で、幼稚園保姆の資格を活用するが如きはあまりにも幼稚園保育を無視したやり方である。保姆は勿論あまりに年若な子供の如きものでは役立ぬが、さりとてあまりに老年の教師でもよくない「子供と年寄」といふ諺を利用して、元氣潑瀨たる幼兒の教育を十分活動も出来ない位な老保姆に託することは根本に於て誤つた考といはねばならぬ。保姆は年若く生々した活動力に富んだものでなくて

は駄目であると斷言しても差支へない。只口八釜しく小言をいつて幼兒を叱つたりいぢめたりするやうな婦人は保姆たる資格はないと考へても過言ではないのである。故に女子師範學校に於て幼稚園保姆並に小學校低學年教員を養成するコースを必ず特設せねばならぬ。現時の我國幼稚園の現状を以てしては多くの保姆を必要としないから小學校の低學年教員としても保姆としても十分優良なものを相當數教養すればよいのである。場合によつては各女子師範學校に於て修業年限二年若くは三年の保育科を特設するやうにしても差支へないと考へる。凡ての女子師範學校生徒に悉く保姆の資格を與へるが如きことは面白くない。しかも小學校教員としての教養も不十分なものに保姆の資格まで附與するが如きことは全く以て不都合といはねばならぬ。要するに女子師範學校に二つのコースを置き、一は専ら小學校教員を養成し、他の一は幼稚園保姆並に小學校低學年教員を養成するやうに教科を按排し、女子師範學校には附屬小學校と共に必ず附屬幼稚園を設立して教育の實習を十分行はしめる工夫が肝要である。これを保姆養成の機關として必ず師範學校の規程を制定せねばならぬ。この學制改革の際に於て師範學校令また同施行規則改正の一重大事項として保姆養成の機關を考慮せられんことを文政當局に向つて要望するものである。

歐米諸國に於ては大學にナースの養成のためのコースがある所も少なくない。例へば英國のロンドン大學のキングスカレッヂは女子の大學で主として家政方面のコースが設けられてゐる。その中にいろいろのコースがあつて一年のコースも二年のコースも三年のコースもあつてセコンダリースクールを卒業せるものが入學しそれ／＼の目的とするコースに入り學習するのである。ナースのコースは一年で、このカレッヂで教授を受けると共に子供病院で半年も實地を練習しロンドンのナース試験を受けてナースの免許状をとり家庭のナースとなりまた保育學校のナースとなるのである。我國の幼稚園保姆と看護婦と兩様の資格をもつものである。このコースの學科には生物學があつて生物に關する一般の知識を得るし職業事務として經濟學簿記等が授けられるし、衛生並に幼兒保護として一般衛生傳染病、育兒と幼兒の保護等の講義並に實際があり別に生理學も加へられてゐる。

またマザークラフトトリニングカレッヂがあつてセコンダリースクールの卒業者を收容し保育の理論を授け三ヶ月の實地練習を行はしめて後ロンドン市のナース資格試験をとらせてナースとなす學校もある。是等の學校では十八歳以下の少女は入學することが出来ない規則になつてゐる。そして學校で教育せられる主要な事項は

保姆衛生、嬰兒幼兒の保護に關する講義、ナースリ管理

母乳哺育、人工榮養哺育の最新法

幼児の研究と取扱練習

普通な小兒病、幼兒の被服洗濯、幼兒の食物の調理、裁縫

等である。多くはカレッヂで九ヶ月間練習して更に三ヶ月病兒の取扱ひの實地練習をなし合計一ヶ年の後試験の上クレイナーと稱することが出来る免許状が得られるのである。

獨逸ハンブルグのハンザストラッセの女學校には保姆養成學校がある。一般にハンブルグの女學校では大學に入學するものと女學校卒業後家政をとるものとまた教師保姆となるものとそれ〴〵特色をもたせてゐる。そして保姆養成をなすクラスの學科は大體我國の保姆養成所と類似してゐる。教育、圖畫、手工音樂、體操等であるが教育は單なる講義でなく討議させる様にしてあり幼稚園に於ける實習は市内幼稚園と連絡をとつて之れに分屬させて實習させる工夫になつてゐる。そして教育實習を重視することが獨逸の保姆養成の一特色となつてゐる。

アメリカの師範大學には多く保姆養成のコースがある。ニューヨーク市の師範大學でもボストン市の師範大學でもそれ〴〵保姆養成のコースがあり附屬幼稚園また代用幼稚園があつて實地保育練習が出来るやうな工夫になつてゐる。またシガゴ市にあるイリノイ州立師範大學でもまたシガゴ大學でもコロンビア大學でも附屬學校には必ず幼稚園があつて保育の研究をなし實地練習をすることが出来るやうになつてゐる。尙ほシガゴ市にあるベスタロチンフレイベルテイチャースカレッヂは幼稚園小學校低學年教

師の養成をなすものでこゝを卒業すると一ヶ月百二十五弗乃至二百五十弗の俸給をとることが出来る位置につくことが出来るといふのである。二年のコースでは教育の原理、保育の理論、プロセクトメソッド、幼稚園文學、教育學、教育的兒童心理學、社會學、文學、自然研究、お話、英語等が學科としてあり、體操、幼稚園手工、構成作業、編物玩具づくり等の實技があり、更に音樂美術として幼稚園唱、歌幼稚園低學年のゲーム、運動場のゲームフルクスダンス及びゲーム、彩色畫、粘土、圖案等がある。而して實地練習として第一年には幼稚園第二年には小學校低學年の實際教育を參觀し教育に當るのである。尤もこのカレッヂには保姆養成を主とする二年のコースの外に小學校低學年教員養成の二年のコースがあり更に幼稚園遊戯教員を養成する二年のコースがある。別に三年のコースもあつて通信教授によるといつたものである。このカレッヂでは一年の授業料は二百二十五弗であるから日本金の四百五十圓一ヶ月三十弗支拂となつてゐる。

かく歐米諸國ではセコンダリースクールまたはハイスクール卒業者をカレッヂに入れて一年以上三年までの教育を施して保姆の養成をなしてゐるのであるが我國の現状に於ては四年の高等學校卒業者を師範學校に入學せしめ茲に二年又は三年の保姆及び小學校低學年教員として特別なコースを設けて教育すればよいと考へるのである。而して女子師範大學に、更に高等なる程度に於て保姆養成のコースを設置することが出来れば申分ないと考へるのである。

進出すべき幼稚園保姆の領野

—(第二十二回福島縣保育大會に於て)—

郡山幼稚園 松 山 政 治

一

近來我國に於て、進歩の著しく、活動の目醒しいものは、教育界の事績であらう。わけても小學校教育は、隆々昇天の勢を以て、著しき發達をなし、着々歩武を整へて、正しき進展をいたし、優良なる成績を擧げつゝあることは、内外共に驚嘆して居る處である。かゝる進歩發展の著しい中に、只我が幼稚園教育のみは進歩も甚だ鈍く、發達も極めて遅く、是等のものと全く同日の論ではない。寧ろ不振の状態を續けて居ると言つて宜しい。これ同業者の等しく、遺憾として居る所であつた。

所が幸なるかな、大正十五年四月二十一日、フレノベル先生誕生の日を以て、勅令は下り、獨立したる法規として、新に幼稚園令が發布された。是に於て、從來不振の状態に沈んで居た保育界は、正に覺醒せしめられ、一段の活氣を帶ぶると共に、聊か氣運の刷新を見た。そして幼稚園保育の進展上に一紀

新元を劃せしむるに至つた。これ本邦幼兒教育の前途に、一大光明を與へたもので、吾人の共に最も慶賀する處であつた。

新幼稚園令の第一條即ち幼稚園の目的に於ては、只文字の上からだけでは大した差異のあつたものではない。併しながらその活用の程度に就て、その範圍の上に於て、極めて廣汎となり、頗る擴大を來し著しき差異を持つたものである。舊令の時代には幼兒教育を單なる幼兒個人のために、教育的立場から適當なる努力を與へるに止まつて居たものである。新令に於ては、幼兒の教育的立場を尊重するは勿論の事、更に一步を進めて、社會的狀勢に鑑み、家庭の事情を察し、家庭生活より受くる或種の缺陷を、補はんが爲めに、新たなる使命を帶ばしめたものである。

是を一言にして言はゞ、從來の幼稚園をして、所謂民衆化せしめたものである。從來の幼稚園では見出し得なかつた新觀念、即ち社會的職能を、新幼稚園令によりて、明示さるゝに至つた事が、非常なる進展を來した點である。

一一

さて歐洲の大戦と、東西の大震災とは、世界革新の上に一區劃を與へたる動因であつた。その對應策として社會事業の起るのは當然である。この數年間社會事業はかゝる必然性を帯びて、急激に勃然とし

て振興して來た。幼稚園をして所謂民衆化せしむるに至つたのも、又正にこゝに原因して居るのである。翻つてその後には於ける、我幼稚園の狀勢を察するに、幼稚園は果して社會の進展に伴つて、民衆化を實現して行つたであらうか、又社會的意義の下に適切なる活躍をなしたであらうか。吾々としては聊か遺憾の怨みなきを得ない。否これを是認する事は出來ぬ。

從來の幼稚園は動ともすれば、舊來の傳統に捉はれ、器械的なる方法にこだはり、その進展は中々容易でなかつた。内容の充實も思はしくなかつた。斯うした久しい因襲の間に經過して來た幼稚園は、如何に法令は變つても、早速之れに順應する事は六ヶ敷くあつた。幾分かは、保育思想の普及も促された様である。幼稚園設立の増加も見た様である。けれども幼稚園の所謂民衆化實現までには、前途尙ほ程遠い感がある。到底期待された程の成績は收めて居ないのである。甚だ残念の至りである。

唯此の時に當り、幼稚園ならざる他の方面、即ち専ら社會事業の立場から託兒事業即ち保育所なり保育園なりの幼兒教育の機運は、勃然として起つたのである。わけでも農村（或は漁村）の期節的託兒所の如きは、近年夥しき勢を以て、増加し來り、各所に實施せらるゝに至つた。今參考の爲めに昭和五年中に開設された期節的託兒所は、内務省社會局の統計によれば、二千五百十九ヶ所にして收容幼兒十三萬〇五百二十七人に及んで居る。

是等の託兒所は、社會焦眉の急に備へたる社會事業であつて、専ら内務省の獎勵やら、誘導やらによ

つて、施設せられたもので、我々の幼稚園令には準據して居ないものである。従つて幼稚園従事者は、此の種のものに殆ど關係して居ないと言つてよい位である。つまりもつと適切に云へば文部省側に屬する教育方面の人々の餘り關はり知らぬ間に、ぬけがけの仕事として、幼児教育が普及されて來たと云つて可なりである。そして幼稚園事業は相變らず、依然として不振の状態を續けて居たのであつた。

三

さて何故に幼稚園は、その普及が遅々として鈍く、その發達が停滯して振はないのか、それには相當の原因がある。今其の原因の一二を列擧して見よう。第一には、社會一般の人々が、未だ幼稚園の正當なる職能を十分に理解する事が出來ず、只管傳統的の見解にのみ捉はれて、積極的に之れが考究の態度をとり得なかつた事である。

第二には、當然理解あるべき筈の教育界に於ても、相當の人々までが、尙且つ幼稚園の眞義に對して正しき見解を有して居らないためである。

第三には、甚だ奇異に感ずることではあるが、兒童教育の姉妹關係である小學校當事者が、幼稚園に對する正當なる見解を缺いて、積極的研究を試みないばかりでなく、時によると、不完全なる皮想的調査により、或は不用意なる偶然的觀察によりて、幼稚園の價値を十分に認めて呉れないといふ、誤謬に

陥つて居ることである。

是等は、何れも、外部に於て幼稚園の眞義を、未だ十分に理解して居らないのに起因して居るのであるが、内部的事實としても、其の原因がある。

第四には、幼稚園従事者たる保母その人に關はつて居る事項である。幼兒の保育が全く女性のみに興へられたる貴き天職であつて、男性の殆ど犯す事の出来ない特權であるが爲めに、女性本來の性格からして、事毎に消極的に流れ易く、因循勝になり易いのである。研究的態度の如きも甚だ薄くして、内容改善に、果たまた使命遂行に、遠慮する處多かつたに起因する。つまり保母の多くは、積極的精神に乏しく、進出的態度が缺けて居るのである。

是が最大原因をなして居ると思ふ。

私の言はんと欲する、保母の進出すべき領野は、正に此處に存するのである。今の幼稚園教育を不振ならしめた、あらゆる原因の一々に就て評論する場合にはない。前に掲げた一、二、三の事項はこれを省略して、その最後のものに就て、専ら述べて見ようと思ふ。

四

抑も幼稚園教育に、一紀元を劃せしめたといふ『幼稚園の社會的職能』とは何であるか、それは幼稚

園令の發布せられたる翌日、大正十五年四月二十二日に、文部省が發したる訓令、『幼稚園令施行上の注意事項』中に、明瞭に示されて居る。今これを掲げて見よう。

〔前略〕社會生活日ニ複雑ヲ加ヘ、一家ノ事情、意ヲ子女ノ教養ニ専ラニスルコト能ハザルモノ漸ク多カラントスル今日ニアリテハ、幼稚園ノ任務ハ益々重要ノ度ヲ加ヘザルヲ得ズ。幼稚園ノ設置ハ固ヨリ之ヲ任意トシ（中略）父母共ニ勞働ニ從事シ、子女ニ對シテ家庭教育ヲ行フコト困難ナルモノ、多數居住セル地域ニアリテハ、幼稚園ノ必要殊ニ痛切ナルモノアリ、今後幼稚園ハ斯クノ如キ方面ニ普及發達センコトヲ期セザルベカラズ、隨ツテ其ノ保育時間ノ如キハ早朝ヨリ夕刻ニ及ブモ亦可ナリト認ム、又幼稚園ニ入園セシムベキ幼兒ノ年齢ニツキテハ從來ノ規定ト同ジク、三歳ヨリ尋常小學校就學ノ始期ニ達スルマデヲ原則トスルモ、特別ノ事情アル場合ニ於テハ、三歳未滿ノ幼兒ヲモ入園セシメ得ルコト、セリ、（中略）事情ノ許ス限りニ於テ適當ニ之ヲ實施スルハ當今ノ時勢ニ照シ亦必要ナリト信ズ』云々。

之れを要するに、一は父母共に勞働に従事して居る地域にありては、努めて幼稚園設立を促さしめんとし、一は保育時間の延長をはかることを努めしめ、一は入園幼兒の年齢を從來より低下して、保育手段の多數の幼兒に及ぼさしめんことを規定したのである。

そこで従來の幼稚園は、これらの精神に則つて、どの程度まで善處して來たか。幼稚園設立の必要地域と認めらるゝ所に、幾何の幼稚園設立が促進されたか、又之れに對して我々幼稚園關係者が如何なる考慮をめぐらしたか。又その設立に對しては、如何なる援助を與へたか、少しく反省して見たいと思ふ甚だ遺憾なことではあるが、お互聲を低めて『汗顔の至りなり』と言はねばなるまいと思ふ。

斯く申さば或論者は言はん

『保姆は自分の受持つ子供の教育に就て既に精一杯である。何の餘力あつてか、斯る本務以外の事に、手が出様か、手の出せる筈のものではない。況して我等は女性である。斯うした運動や斡旋には不向きの方である。寧ろ此の種の運動には、別に他に適當な人が居る。敢て我等の關はり知る所ではない。従つて其の責任は我等の擔ふべきものではない』と

論者或は然らん、併し果して然りてあらうか。

眞正の事業は、高き理想によつて働さ、深き信念を有して經營さるゝ時に始めて完成を見、効果をあげらるゝものである。苦痛も妙味も十分に會得し豊なる體驗を積み、撓みなき努力を續けたものでなければ、事業に對する眞の理解はない。眞の理解と、豊なる體驗とを有する人の活動、努力こそ、實に尊

いものである。

滿堂の保姆諸賢！ 諸賢は保姆なるが故に、最もよく幼児教育を理解し、是に就ての豊なる體驗を有した人々である。諸賢の如き人々が起つて、幼稚園の普及に志し、是が發達に努力せらるゝならば、其の成功や期して待つべきである。もつと厳しく言はゞ、幼稚園設立の動因者となり、或は盡力者となるあらば、諸賢は實に尊いお方である。諸賢大いに是に目覺めて、奮勵一番よろしく起つべきではないか大いに進出して、幼児教育の普及と徹底とに盡力されんことを望むものである。

よしんば諸賢の直接計畫と直接の盡力とによつて、幼稚園設立の實現を見る事が出来なかつたとしても、諸賢の目下從事しつゝある幼稚園教育を通して、或は諸賢の熱烈なる宣傳により、或は諸賢の優秀なる示範によりて、諸賢の關係せる地域の多數人心を動かし、幼稚園設立の氣運を醸成し、教育的雰圍氣の瀾漫を作成せしむることを得ば、幼児教育上に貢獻する所偉大なりと言ふべきである。是位の原動力となる事は、敢て、決して至難の事ではあるまいと思ふ。

六

次に考慮すべき事柄は、幼稚園の内容に關する問題である。是は決して他人事ではない。直接保姆諸賢の双肩にかゝり其の責任に屬して居る問題である。從來己が經營して居る。その幼稚園の内容に、相

當の改善を加へて、新幼稚園令の精神を汲みたる、社會的職能を帶ばしめるといふ事が、是である。敢てお尋ね申すが、縣下の幼稚園中で保育時間の上に、早朝より夕刻まで及ぶも可なりといふ精神を加味されたるもの幾つあるか。これは土地の狀況、及び家庭の事情等を考へて、實施すべきは勿論である。いろ／＼類型の異りたる家庭を對象とする事故、一概には論じてはならないが、從來の傳統によれば第一學期中はお辨當なし、第二學期に至りてお辨當を持參せしむるも、晝食をすますと食後間もなく帰宅せしむるといふ慣例になつて居る様である。けれども斯かる行事は、果して合理的であるか、又何を根據として斯くの如くしたのであるか、甚だ明瞭を缺いた事柄であつた。

勿論幼稚園令には、保育時間數なるものに就て明確に規定して居ない。かるが故に、そうした處置をとつたからとて、敢て法令違反ではない。又子供の歸つた後には、先生は直接子供に用がないものである。それ故に子供が歸るや間もなくサツサと歸つてしまつたからとて不都合でない場合もあらう。併しそれが果して熱誠ある人々の忠實なる勤め振りと言はれやうか。至つて些細な問題ではあるが、斯かる枝葉の事柄が、却て往々幼稚園の職能を誤解せらるゝ原因となつて居る事もないではない。

保育時間の如きも、幼兒の心理の上から、深く研究して、四時間が正しきか、五時間が適當か、それともそれ以上を以てすべきかといふ様な事柄は、未だ研究の積まれない未了の問題であつて、如何するとも勝手な事柄である。併し私の言はんとする所は、從來の保育時間なるものが、眞に社會民衆の要求

に合つて居るか、どうかといふ事である。若しそれが社會民衆の意志ではないとしたならば、是は潔く改善せねばならぬではないか。將來、社會民衆の要求に副はぬものは、亡び行く運命を持つものである。故に保母は、幼兒の心理を研究し、家庭の事情に鑑みて、即ち進出的態度をとつて大いに努力すべきであると考へる。

次に幼兒の入園年齢に就ても、從來は多く満四歳よりに限られた様であつて、満三歳の幼兒を入園せしむる事は、殆ど無かつた様である。然るに今は其の必要によりては、満三歳以下をも入園せしむる事を得る様に擴張されて居る。此の精神を汲み取つて適當なる處置をとる様に努力せねばならぬではないか。

勿論そうした場合には、幼稚園設備の上にも、保育方法の上にも、又保母休養の上にも、深き考慮をめぐらし、十分なる注意を拂ひて、適當なる對策を施すべきである。兎角、社會の複雑化を思ひ、一家主計の事情に鑑み、幼兒を完全に保育するだけの熱誠と努力とを、くれぐれも要望して止まぬのである。是保母の大いに進出して研究を積むべき領野の一つである。

七

更に進んで考究し、盡力せねばならぬ問題は、近時俄に勃興し來りたる、農繁期託兒所に關しての事

である。諸賢の既に知らるゝ通り、從來縣下の幼児教育機關は、二十七ヶ所の幼稚園と、十二ヶ所の幼稚園令に準據せず、社會的意義の下に施設せられて居る、常年託兒所とがあつて收容して居る幼兒數は昨年統計によれば、二千三百六十二人に上つて居る。然るに本年度開設された農繁期託兒所は、その數五十六ヶ所あつて、收容幼兒實に五千四百人を算して居る。優に我幼稚園收容幼兒の倍數に上つて居る、いかに短期の間なりと雖も、斯かる多數の幼兒が教育的施設の下に、相當の取扱を受けたといふ事は、本縣に於ける幼児教育の爲めに、大いに慶賀に堪へない次第である。

此の農繁期託兒所に就て、幼稚園保姆諸賢は、如何なる程度に願慮を持ち如何なる方面に盡力を與へられたか、この農繁期託兒所の仕事は實に幼稚園保姆として見逃してならぬ好材であり、又社會的意義の上に働くべき好機である。幼稚園保姆の進出すべき領野は又正に是に開展されてあるのである。

添付したる別表第二に示してある様に、諸賢の幼稚園所在地に近接したる地域に、この施設があつたに多數開設されたのは、大いに喜ばしき現象である。先輩たるべき吾々は、喜んで之を迎ふると同時に進んで相互の聯絡を圖り有無相通じ、長短相補ふは勿論、よろしく諸賢は、多年の經驗を提げて、之に臨み、努めて注意を與へ、進んで指導を加へて、滿全の成功を期する様、盡力してやるべきである。

その設立の動機が、社會的缺陷を補はんがためのものであつたとしても、對象として居るものは、同じく幼兒である。諸賢の取扱つて居るものと同じく愛護の精神によつて引き回はして行かねばならぬも

のである。保賢諸姆は幼兒教育に對する注意と、その勢力とを單なる己が幼稚園にのみ局限することなく、更に一步を進めて、この社會性に培はれたる、農繁期託兒所に向けねばなるまいと思ふ。別表既に示したるが如く、斯種の施設の起ると起らざるとは、一に關はつて、その地方に於ける盡力者如何による事を伺ふことが出来る。彼等は今や諸君の盡力斡旋を、時遅しと待ちつゝある事を知らざるか。

八

抑も農繁期託兒所の事業たるや、今迄全國幾萬の幼兒が、殆ど放任されて居つた農繁期を、彼等の不幸と危険とから、保護してやる社會事業なのである。勿論、幼兒以外に母親の保護であり、勞働者の福利増進をはかる、社會的保護事業ではあるけれども、斯かる保護事業はそれ自體以外に、なか／＼重要な教育効果を收めて居る。それは副次的にもせよ、斯かる農村に幼兒愛護の精神を啓發普及せしむる點に於て、その功績は教育上なか／＼莫大なるものである。實に尊い事業である。

ところが此の尊い事業が農村にありて、果して如何なる状態に於て實施せられつゝあるか、其の實際を詳に知るものは、敢て戰慄する程でなくとも大いに憂慮に堪へぬものがある。是即ち農繁期託兒所に於ける教育的作業を餘りに軽く見て居る事である。

保姆諸賢中にも、或は『農繁期託兒所は、社會事業にして、教育的事業でないから、我等の預り知る

所でない』と對岸の火災視して居らるゝ向もないではない。諸賢は愚か、實際の局に當つて居る農繁期託兒所の設立者中には、

『この事業は、農村焦眉の急を救はんが爲めに、社會施設の一として、經營されたものでそれ以外には、多くの附帶性を要求するには及ばぬ』

と主張する論者もある。斯かる人の經營して居るものには、施設も方法も無頓着で教育も指導も、殆ど成つて居らぬものが多い。時によつては伸展すべき尊き靈芽を有する幼兒を、一つの物品的に眺め、是が保育の任に當る保姆の選擇も、保育の方法も、殆ど無謀に處理し、それで満足して居る。斯かる處置は社會的職能の誤謬と言はんよりは、寧ろ淺薄なる見解によつたものであつて、幼兒の生命の光と、伸展の力とは全く蹂躪せられたる、亂暴の處置と言はねばならぬ。不合理の極みにして損害此の上なしといふべきである。寶物を預りながらその用をなさしめざると同様なものである。

農村の兒童にして、教育的の指導者を有せぬならば、折角、大自然の懷に抱かれ、淨き大氣を呼吸して、すが／＼しく生長しながらも、闇から闇に野生のまゝに過して仕舞はねばならぬ事になる。何と悲しむべき憫むべき現象ではないか。

如何に『農繁期託兒所は、他に多くの附帶性を必要とせず』とはいひながら、幼兒を對象として居る仕事には、自からなる結果として、相應に幼兒の持つ、生さんとする明るさと、伸びんとする尊さにと

觸れずに了られるものではない。その影響的結果が教育的効果に無關心なる譯には行かないのである。否子供居る所必ず教育なかるべからずである。如何に託兒所の子供なりとしても、子供なるが故に教育を受けねばならぬものである。よろしく幼稚園の目的を味はつて、其の心身の健全なる發達を圖り、善良なる性情を涵養することに努めねばならぬ。雷にお八つを與へ、時間つぶしをしたからとて決してよいものではない。すべて物的生活の充實は最後の意義のものではない。物は人への途である。主客を顛倒したる處置をとつてはならぬ。

如何に施設の期間は短く、設立の動機は異つて居たにしても、其の幼兒たる點に於て、何の差別があらう。型こそ假りに違つて居れ、子供を子供として見る、我等の教育眼には、差別はない。共に尊い生命であり、共に將來の日本國民である。其の取扱に差別のあるべきものではない。我等教育的任務の上に尊き使命を自覺せるものは決して黙過して居られやうか。

従つて是が保育の任に當るものは、偶然的であつたにせよ無經驗であつたにもせよこの尊き任務を自覺し、堅固なる信念と、高き理想との下に無限の愛心を以て彼等の幸福の上に働いてやらねばならぬ。夢にも短期間限りの親達の機嫌取り仕事に終つて仕舞つてはならない。

是に於て經驗あり理想ある我幼稚園保母諸賢は是に一大進出を試み、農繁期託兒所の幼兒が教育的に取扱はるゝ様、その道をつけてやらねばならぬ。

農繁期託兒所は、短期のことなれば、それだけ保母諸賢には繰合せをつけるのに都合がよい。此の期間中を、この事業のために援助したからとて、決して諸賢の本務に妨害を來す程の影響はない。却つて是が爲めに別天地の新らしき経験を積み、各般の異りたる状態を知り、引いては己が本務の補助にこそなれ、毫末も支障を來す様なものではない。況してや諸賢が常に抱持して居る理想の實現をこの方面に施し得、多年経験して來た精練せる手腕を、この場所に表はし得るの快事は、實に天下の至樂と言ふべきである。況してや世の悲運に泣く人々の友となり、世の悲境に埋もるゝ子女の愛育者として立つ女性は、彌陀そのものにして實に尊き姿ではないか。大いに進んで是が指導の任に當り、その援助の誠を効し、眞實なる使命を果してやらねばならぬ。保母の進出すべき領野は、正にこゝにありと言ふべしである。

農繁期託兒所の事業を、眞に理解し、母親保護と、福利増進との外に、兒童愛護の精神により、開設せらるゝ託兒所ならば、正に農村の文化的施設の一として立派な『子供の樂園』である。此處に集る子供の幸福は如何ばかりであらうか。常に子供の幸福ばかりでなく、家庭の幸福となり、郷土の幸福となり、國家の幸福となる、更に今年の農繁期託兒所化して、明年の常年託兒所となることあらば最も理想的といふべきであらう。

更に進出すべき領野は、農繁期託兒所に従事する保母の養成機關に就てゐる。現時の農繁期託兒所の保母が、偶然的の採用により、不用意の心意にて、何等學理にも通曉せず、何等方法をも解せず、全く素養乏しき身を以て、漫然幼兒の天真に接するあらば、こは幼兒に對する一種の侮辱であり事業に對する無謀の極である。吾人これを見て、狂人利劍を抱いて群集に向ふの危険を感ぜずには居られない天真爛漫なる幼兒の殘酷さと、純真無智なる本人の苦痛さを思ふて繁憫の情に堪へぬ。

須らく教育の事業に従事するものは、是に適應し得るだけの豫備的知識と、之れを訓練し得るだけの經驗手腕とを有せざるべからざるものである。かるが故に、その従事者の中には、少くとも一二素養ある者の交はり居るを必要とす。是に於て近隣幼稚園は、如何なる方法を以てしてか、保母の派遣を企てこれが指導の任に當らしむべきである。

又縣或は保育會の如きにありては臨時保母養成所を設けて、豫めこれが救済に備ふべきである。斯かる養成所の施設は俄に困難なりとすれば、其の場所と時間との關係を考へ、各地各所に保母講習會を開いて應急的施設をなさねばならぬ。此の部分或は保母進出の領野に直接の關係を有せざれども、愈々是が實施に際しては、幼稚園保母を講師として、其の養成を計畫すべきを便利なりと思ふ。

此の際に於ける從來の幼稚園は、其の場所を開放し、其の幼兒を提供し、その器具を貸與して保育の實習に便宜を與へらるゝは勿論、保母自ら講師となり時間をさげ、勞力をいたして、小規模の保母養成機關となることが大切である。

由來農繁託兒所に關係をもつことは、幼稚園保母の進出すべき一大領野であつて、保母の任務の一つである。保母諸賢は女性の有する強き使命觀に立ち、進む熱愛を捧げ、不撓不屈の意氣を以て大いに進出する覺悟を持たねばならぬ。

一〇

もう一つ最後に更に進出すべき領野は、幼稚園を通じて、家庭教育を補ふことである。諸賢の中には子供を教育するに、家庭から預つた時間或は、年限だけを教育すれば、其の任務終れりと心得勝ちなものがあつた。併し子供は家庭から一人ポツンと離して預つたものではない。そんな心得にて教育する事あらば、その教育は徹底しない。到底家庭教育の補助等にはなり様筈がない。子供の生活根據は家庭であるから、子供の生活を取扱ふ幼稚園では家庭と切り離すことが出来ない。幼稚園では子供を家庭ぐるみに預り、その家庭の中の親をも教育の對象と考へて、親をも教育するでなくては眞の家庭教育補助にはならない。是が爲めに子供の家庭調査を十分詳しくする事は勿論である。諸賢の教育力は從來子供の

には十分及んで居たであらうが、未だその親にまで及んで居たとは言はれまい。子供をよくするよりも親をよくする教育が尙ほ一層大切である。

諸賢が家庭を教育する否母を教育せんとするには、非常に便宜多い場所に位置を占めて居らるゝ、第一子供を人質として預つて居るではないか。宜しく、こゝに活動の基調を置いて家庭訪問なり母の會なりを頻繁に行ひ、度々母親に接觸する機會を多く持つ事である。諸賢が子供に施して居る兒童愛の働きが母を陶醉せしめ、満足せしめ、感謝せしめ、居るではないか、この特殊なる便宜の所有者としての諸賢は、十分にこの利器を活用せなければならぬ。

進んで家庭を訪問して、相互の連絡を圖るは勿論、迎へて母の會に列席せしめ、保育の實際を見しめ保育の理論を會得して貰はねばならぬ。母を教育の對象として接觸を頻繁にする中には、諸賢の努力して居る實際を自然の間に認められて貰ふ事が出来る。由來母の會は幼稚園の附屬事業の如くに心得て年一回位しか開かず居たが母の會は幼稚園の主要なる事業として少なくとも毎月一回以上は開き、宜しく高く呼び、よろしく深く知つて貰はねばならぬ。更に各種の展覽會を開いて、其の見聞を廣めてやり更に諸般の催しを共にして其の苦樂をお互煩たねばならぬ。斯くて家庭の生活改善を圖り、情操涵養にまで努力せねばならぬ。

勿論諸賢の預つて居る家庭の中には、改善の必要な家庭も澤山あらうけれども又諸賢の努力により

て、より以上に輝いて行くべき家庭も決して少なくはない。否々家庭教育は斯くのようにして刻々と改善されて行くものである。家庭教育の能不能は保母諸賢の進出せんとする精神程度の如何によつて決定する。

近年文部省が切りに家庭教育振興を叫べるも亦故あるかなである。幼稚園はソーシャルセンターとして社會の中心となり、あらゆる方面に働きかけて行き、諸賢の事業を通じて日々香ばしき薫を地方に放ち平素温かき光を送つて、家庭の改善社會の進展に貢献せねばならぬ。子供の幸福は家庭の幸福なり、家庭の幸福は其の土地全體即ち郷土社會の幸福である。幼稚園が施す教育的作業は、すべて委くが、社會改善の上に、乃至は社會成長の上に、重き任務と、尊き使命とを以て働きかけて行かねばならぬ。この働きこそ與へられたる領野に向つての進出である。

要之、幼稚園保母は、幼兒教育の重大任務の上に家庭教化と社會教化とを擔はねばならぬものである。此の任務と使命とを目覺する時に、我々は絶大なる勇氣が湧く、諸賢、滿堂の諸賢、大いに自重し、自愛し、この限りなき喜悅の上に更に一段の進出を試み様ではないか。(完)

昭和六年度ニ於ケル農繁期託兒所調

(昭和六年九月調査)

市郡名	名	稱	代表者	開設日數	収容幼兒
福島市	濱邊	託兒所	第三小學校校 愛國婦人會	一〇	一八三
郡山市	小田原	農繁期同	福島支部	二一	一四八
同	開成	同	道因寺	一四	一一四
同	芳賀	保育園	芳賀小學校長	一四	七九
同	桃見臺	保育園	桃見臺小學校長	一四	一二二
信夫郡	清水	農繁託兒所	清水小學校長	一〇	一八〇
同	瀨上	季節幼稚園	瀨上同	一三	四三八
同	松川	季節保育所	松川同	一〇	三八一
伊達郡	川端	臨時託兒所	川端同	一四	一五一
同	白根	同	白根同	一二	八二
安達郡	本宮	農繁期託兒所	本宮婦人會長	一四	一一九
同	大槻	農繁期託兒所	長泉寺	一四	五四
安積郡	農繁	期託兒所	片平村廣修寺	二〇	四〇
同	(中村不動堂)	同	同	二〇	三〇
同	(猿田彦神社)	同	同	二〇	三〇
岩瀬郡	須賀川	上町託兒所	須賀川町長	二一	五〇
同	同	中宿託兒所	同	二一	五〇
耶麻郡	遠田	農繁期託兒所	堂島小學校長	一一	三一
同	岩月	村第一同	岩月小學校長	一一	七〇
同	岩月	村第二同	龍泉寺	一一	五〇

市郡名	名	稱	代表者	開設日數	収容幼兒
同	熊倉	農繁期託兒所	熊倉小學校長	一一	四七
河沼郡	坂下	學園簡易託兒所	坂下學園長	二〇	八〇
大沼郡	永井	野農兒童園	天笠隆元	一四	一三二
東白河郡	笹原	託兒所	愛國婦人會	一四	一〇〇
同	近津	農繁期託兒所	福島支部	一四	九一
同	寶坂	農繁期託兒所	寶坂分教場	一〇	三七
西白河郡	白河	保育園	白河町共濟會	三六	四〇
同	小高	農繁期託兒所	小高實業校長	一〇	一〇六
相馬郡	淺川	大革託兒所	淺川小學校長	二一	三六
石川郡	上大	越兒童保育園	上大越小學校長	一四	八八
田村郡	瀧根	託兒所	瀧根小學校長	一二	一三八
同	堀越	保育園	堀越小學校長	一四	二一
同	三春	眞照寺託兒所	眞照寺	二〇	六〇
同	皮籠	石保育園	小野新町長	一三	五三
同	專光	寺農繁期託兒所	同	一三	六一
同	新町	第二農繁期託兒所	同	一三	四五
同	大聖	寺農繁期託兒所	大聖寺	一六	二五
石城郡	泉	保育所	古關新香	一四	五九
同	平窪	農繁期託兒所	平窪小學校長	一〇	一七
同	中鹽	同	同	一〇	三〇

玩具中心教育の提唱

(第四回世界教育聯盟會議に於いて)

日本代表 フレイベル館社長 高 市 次 郎

今夏米國のデングザア市に開かれた世界教育會議に出席せる日本代表の高市民より、大會の幼兒教育部會に提案し、玩具教育を高唱したる英語演説の概要約文である

フレイベルは其の名著「人の教育」の中に、幼兒を「自己的能動的、創造的生物」と道破いたしました。幼兒は持つて生れた活動本能を何等かの形に於いて外部に發動せしめなくつては一刻も生活することが出来ないであります。そして此の活動本能は遊びといふ形を以て外部に表現せられます。遊びは幼兒の生活と密接不離な、否、幼兒の生活そのものであり、生活の全部であります。例へば、大人が何等か實用的目的の爲めに行ふ事——掃除をしたり、本を讀んだり洗濯をしたりなどしても幼兒は悉く、遊びとして意識し且實行いたします。従つて大人の世界に於ける「物の價值」といふものは、幼兒の世界に於いては少しも效果を持つてゐないのであります。大切な掛軸に墨を塗つたり、張りたての障子を破いたりして、幼兒は一向平氣であります。これ、幼兒の世界に於いて、一切が遊戲化して意識せらるゝが故に他ならないのであります。であるから、幼兒の身心を伸び行くがまゝに完全に發達せしめんが爲には、その活動本能の出口たる「遊び」に對し、充分な機會を提供することが必要であります。

幼児の「遊び」は身體的なものと、精神的なものに二大別いたされますが、此の内、精神的な「遊び」に對しては、特に適當な「道具」が必要であります。しかも、その道具たる、何等の拘束なく、幼児が自ら進んで自由に使用し得るものでなければなりません。言ひかへれば、與へる道具と兒童の興味とが、びつたりと一つに結び附いたものでなければなりません。これ即ち「玩具」の觀念に他ならないのであります。大人の生活必需品たる道具をも、幼児は之れを玩具として取扱つてゐるのは、吾人の日常目睹する所であります。

従來、幼稚園で兒童に與へてゐる玩具は、玩具的性質に於いて缺ける所が尠くないのであります。例へばフレイベルの恩物の如きも、フレイベルの理想通り用ひられないで、他動的、注入的、形式的、部分的に使用せらるゝことが多いのみならず、恩物本質から云つても興味が足りませぬ。たとへば鹽なり砂糖なりで味が付けてない肉のやうなもので、喰べれば滋養になりますが子供はこれを喰べませぬ。モンテッソリー玩具に於いては、此の傾向が一層甚だしいのであります。例へば、生の肉を滋養になるから喰べよと強ひるやうなものであります。夫れはあまりに兒童の自然の興味から遠ざかつて居ります。かくの如きは、幼児にとつて迷惑なる負擔たる以外の何物でもないでせう。幼児はそれによつて身心の發達に資せざるのみならず、却つて消極的結果を招來するであらうと思はれるのであります。

近い時、小學校低學年級に於いて「合科教授」が提唱せられ、獨逸の如きは國法を以て小學初年級に之れを施行せられて居ります。日本では小數の特殊學校を除く他、未だ實行の域に達して居りませんが教育思想上、此の方法は甚だ進歩した。價值あるもので、早晚世界の教育界に高い評價を以て邀へらる

しこと必定であります。

己に小學校の低學年に於いて合科教授が行はれ得ると致しませば、まして幼稚園に於いては一切を玩具に結合し、之れによつて幼児の精神を多方面に發達せしむべきことは、固より當然の事と言はねばなりませぬ。即ち余輩は幼稚園の教育は遊戯を中心とし、しかも精神的遊戯は一切玩具を通して之を行はんことを提唱するものであります。その原理は極めて單純明瞭である。即ち遊戯は幼兒の自發的能動的活動の對象であり、興味を以て追求する唯一の生活であります。而して、玩具は精神的な遊戯への唯一の道具であり、對象でありますから、そして余輩は更に進んで小學校の低學年に於いても、少くも或る期間は日本に於ける尋常三年迄玩具を中心とする一種の「合科教授」を行ふべきことを主張するものであります。

然らば「玩具による教育」の具體的實行方法如何？

これ甚だ重大にして且つ困難なる問題であります。余輩は茲に二、三、試案の持ち合せが無い譯ではないが、未だ到底貧弱にして本席に於いて發表するの域に達して居りませぬ。惟うに、此の問題は頗る多事多難なるもので、到底一人一家、否、一國を以ても能くし得るものではありません。世界の教育家が協力一致し、互に有無相通じ、多年實驗に實驗を重ねて、始めて完成し得るものであります。利刃は一面危険を伴ふ如く、「玩具による教育」も頗る高き價值あるものではあるが、一步を過れば其の効果なきのみならず、却つて非常な危険に陥る恐れがあります。特に慎重なる用意を以て、此の問題の研究に當る必要があります。夫れで世界各國の有爲なる教育者の會合に於いて、余輩は敢て此の問題を提出し玩具中心の教育法に對し國際的協力を翹望して罷まぬ次第であります。

ヘンリーストリート セットルメント (在ニューヨーク)

宇佐美 敬

ユダヤ人の多く住む街にあるセットルメントであります、その事業の一つである託児所は『最もよく整つたもの』として案内され參觀いたしました。建物の二階の廣やかな最もよい部屋がそれぞれあててあります。主任の先生の上品にして、極めて静かな態度、また幼児の取扱ひが、全體の空氣を穩かにして、貧兒の集りとは見られません。部屋の窓には生々としたアスパラガスの鉢植がかけてあり、窓の下には清い水に金魚の泳いでゐる鉢が置いてあります。十一時十五分前のレストタイムになりますと、幼兒は皆きれいな床の上に何も敷かずにごろ／＼とねます。一人の女兒が先生

の膝の上に嬉しそうに眼を閉ぢて居ります、脛を曲げて大人のするやうに横になる小兒もあります。十五分の後、皆一齊に起き出て體操をいたしました。その後でランチ、一杯の牛乳と乾いたお菓子少々、終ると先生のお手傳して後片づけをして遊戯をいたしますが、言ふことをきかぬ小兒も居つて、その列から引き出されるのなどあります。學校が退けて、弟妹を迎へに來た數人の男女兒もしばらく一緒に遊んで、やがて身仕度して家に歸ります。幼兒廿五人先生二人幼兒は殆どユダヤ人の子供であります。午後交代に別の兒童が卅人位まゐります。五時まで預ります。貧兒をあづかる

といふよりもユダヤ人の小兒にアメリカのシテイ
ズンとしての教育をするのが目的であるやうに思
はれます。

セトルメントの體操室には種々の運動具が備
へてあつて、其處にジムドレスを着た少青年女兒
が盛に運動をして居ります、大ていオノヒスに働
いてゐる青年男女が、勤めを終へて、或は公休日
に此處に集り、種々の教養を受けるのであります
が、圖案科、染色、その他の手藝の室には、それ
／＼の先生が居られ、皆熱心に指導されます、其
製作品は即賣もし、時々バザーを催すといふ事でも
あります。向ひ側にセトルメント經營のレスト
ーランがあります。尙此處に派出看護婦制があつ
て、すが／＼しいユニホーム姿で、病家、産婦、
を見舞ひます。アメリカの若い婦人で化粧をしな
い人は殆ど見られませんが、カレッジの學生さへ可
なり濃厚な脂粉をほどこして居りますが、さすが

に此處らに働く若い婦人、殊に看護婦の人たちは
薄化粧すらして居りません。何ともいへぬ清い感
じを與へられました。我國にもこのやうな整つた
セトルメントが各所に出來て、若い女性の奉仕
の世界が擴大される事を祈つた事であります。

歸途にその附近にある市立圖書館のプラランチで
ある小兒の圖書館をたづねました。兒童の讀みも
ののみを集めた可なり広いホールに幾人かの兒童
が自由に讀書して居ります。訪ねたのが丁度午後
三時頃でありましたが、これからだん／＼大勢集
まつて來るといふ事でありました。當市第六十四
小學校を參觀した時、一週一時間、學校のライブラ
リーで讀書する時間において先生の監督指導の許
にカードの取扱ひ方書物の出し入れから、その部
屋では全く無言で、併も足音をたてず、またなる
べく歩かぬ事など細かに教へられるといふ事でも、
實際其時間を參觀いたしましたのが、非常によい事

と思ひました。此圖書館にもカードの置いてあるデスクに、一人女事務員が居るだけでありました。

ニューヨーク市に於ける幼児教育に關する參觀記はこれに止めて次にポストン、ケンブリッジに於ける幼稚園に就て記述する事にいたします。

ホイーラツクススクール幼稚園 及びトレーニングスクール

ホイーラツクススクールはミス・ホイーラツクを校長とする保母養成學校であります、學校から少し離れた小さい別の建物がその附屬の幼稚園であります、折柄、クリスマスシーズンで、作業その他キリスト降誕祭の準備であります、幼児十二人に主任の先生が一人、助手が三人、園舎は大きい部屋が一つ、小さい部屋が二つあります。仕事は、此小さい方の部屋に、年長兒と年少兒とに分れて

いたします。大きい室の一隅に、一インチ單位の小さい積木で、ベツレヘムの廐が出来て居ります。その周圍に玩具の鶏、牛などが置いてある。廐の中には、馬槽の中のキリストとマリア・ヨセフの人形が置いてあります。

幼兒は圓坐して、先生の話に聞きいつて居ります。先生はクリスマス祝賀の用意にせはしく残念ながら皆の話をゆつくり聞いては居られないといつて、すぐ唱歌に續いてクリスマスの詩の暗誦が始まりましたが、可なり長いものでまだ中ほどまでしか出来てゐない幼兒もあります、かれこれ三十分の後、續いて遊戯、リズムカルの行進の後サントクロスの遊戯といふのをいたしました。中々面白いものでした。一人だけ輪の外に出ます。一同がクリスマスアイブにサントクロスを何を持つて來るであらう、と歌ひますと輪の外に出た子供がおもちゃの表情をして歩きます。例へば

ポツ／＼と汽車の走るやうな格好をしますと一同もその通りに行進をいたします、かうして順々に思ひ／＼の姿態をいたします。人形になつて身體を堅くして歩るく、動物のおもちやになる、先生が飛行機になつて出られた時は一同大喜びでその眞似をいたしました。

遊戯のあとすぐ續いてクリスマスプレゼントの製作に移つて二組にわかれて小さい部屋にはいり席につき、紙と糊との小さい細工ものでカレンダークリスマスカードその他クリスマスツリーにつける飾りなどで、各自送る先きをきめて熱心にこしらへて居ります、かくして半日の保育時間が過ぎます、躑けの嚴しい、凡てが極めて古風なやり方であります。

師範學校の方も翌日參觀いたしました。剪紙畫さ方の講義でありました、別段に興味を覺えませんでした、繪畫の先生は、ラファエル、ヴァン

ダイクの話をして、畫家の傳記を幼兒に語るの興味多い事であると話して居られました。

ミスホイーラックに面會致しましたが齡七十歳に近いかと思はれる老婦人であります、さすがに女流大教育家の風貌を備へて居られます、地下室に案内され、學生がクリスマスの題材で綿で雪景色を表現した澤山の製作を見せていただきましたが、中々面白いものでありました。

ページメモリアム幼稚園

ポストンから約一時間半にしてウエルズレーに着きます、美しい静かな町で、其處に有名なウエルズレーカレッジがあります。廣大な敷地の中に建つてゐる幾棟かの高壯な建物が冬枯の樹林に點在する景色は何ともいひやうがありません。幼稚園を訪ふ前に、ライブラリー、ホール、ドウメトリ（寄宿舎）音楽室など見ました。英國のケン

ブリツチ、オックスフォードに見る古い建物の美とまた異つた意味で、その近代的な晴れやかに、のんびりとした美しさに真から魅せられた事であり、そしてかういふ學校に學ぶ人の幸福をしみ／＼羨ましく思ひました。

幼稚園は此カレッツチの附屬でありまして敷地内に建つて居ります、幼兒は僅に十二人、一室で一人の先生がして居られます、他に小學校も同じ建物の中にあります、これも亦極めて少人數であります。

大きい部屋で極めてゆつくりとして居ります。大體コロンビヤ、テーチャイスカレッツチの幼稚園に似て居ります。私は此處にまゐりまして自分の幼稚園に居るやうな心地がいたしまして、所謂、アットホームに感じたのであります。幼兒は先生の廻りに集つて靜かにお話を聞いて居ります、二三の女兒は少しはなれて、何か仕事をしながらやはりお話をさいて居ります、穩やかな、落ちついた氣持、ニューヨークとボストンの相違が、兩市の

幼稚園に見られるやうに思はれました。此處にもヴィーアナの特殊の繪畫學校の生徒の繪がかけてあります、此學校に就ては後に記す事に致しますが、歐米到る所の幼稚園にて小兒の部屋に、此學校の兒童のゑを見たのであります。

ランタイムには先生がテーブルの用意をされますと幼兒は椅子を運びます、同時に次に來るレストタイムの用意を一方で致します。二枚に折れる厚いマットに布が張つてあります、毛織のラッグよりもほこりがしないでよいと思ひました。一つズツクの張つた小さい折りたゝみのベットを用意して居りました、これ等は皆各自の家庭から、母親の自由選擇で持參するのだといふ事であり、すテーブルの用意が出來て席につきますと先生が簡單にお祈りをなさいます。ランチがすすみますと皆マットに横になります、或者は机に倚つて眼を閉ぢて居ります、此時先生が一つのマットの位置を少しく動かされました、その持主がやがて其處にまゐりまして、しばらく考へて居つたやうであ

りましたが、其子は横になりません、先生がそれをどう處置されるかと興味深く見て居りますと、先生は別に氣付かぬ態度で、全體の幼兒を見守つて居られます、その女兒はとうとう最初自分の置いた位置へ戻して横になりました、何處にも氣むづかしい小兒は居るものであります。十五分たつてピアノの合圖で皆起きてマツトを片づけて室外に出ました、先生は先きの女兒にやさしく、もうすこし横になつて居るやうにと命ぜられました、お友達は嬉々として外で遊んで居ります時に、一人とり残され而も眼を閉ぢて横臥して居らねばならぬ事は、小兒にとつて可なりに重い刑罰であります、その女兒は遂に泣き出しました。しかし暫くは許されませんでした。先生は言葉少なくいつてきかされたやうです。やがて許されて先きの群にはいりました。あの意地張りさんも二度とは強情を張るまいといふ氣がいたしまして私まで嬉しくなりました。

此先生は特に音樂の技能の勝れた方らしく自由

に美しい曲を次から次と弾かれます、*「もう一度それを弾いて下さい」*と幼兒がおねだりをいたします、そして跳つて居ります。或女兒の二三は仕事をしながらそれを見て居りますなど如何にも穩かに、私には誠に好ましい形式でありました。餘り澤山よいダンスの曲を聞きましたのでその書物の二三種の名前を書きつけて歸りました。

少し離れてウエルズレー、デーナーセリウスクールの嬰兒と先生が二人、廣い明るい部屋で、赤ちやん達嬉々として遊んで居ります、二人で仲よく遊んでゐる瓜二つの赤ちやん、双生兒であらうと思つてたづねましたから果してそうでした。何といふ可愛い、人達かわかりません。私はいつまでもじつとながめて居りたいと思ひました、午後の豫定がありますので三十分ほどで辭しました。その先生のお話に、時々母親たちが手傳に來られる、それ等の人達に種々教育上の指導を與へるといつて居られました。

幼児の爲に歌を作りて (4)

葛原しげる

幼児の爲の歌は、歌よりも曲の方が大事だとも

なり、苦心を要します。

いへると、大正三年夏、倉橋教授から聞いて、早

あられ

梁田貞氏曲

速、試みたのが、「ピアノ」であり「お人形」「ほたる」などであり、「林檎」であり、「落葉」「雪」そ

の他少くないのです。そして、次の「あられ」も

コンノ、コンノ　霰が降る
バラリ　バラリ

さうです。即ち、曲を先に作つて、後から、その

コンノノノノノノノノノノ

曲に合わせて作歌するのですから、歌は、非常に曲

お屋根に　霰が降る

の制限を受けます。詞が自由に使へません。字脚

バラリ　バラリ　バラリ　バラリ

は勿論、アクセントまでも限られますから、澤山

お手々を　ひろげて　霰を受けよ

ある日本語の中から、その場所のアクセントに合

コンノノノノノノノノノノ　霰がふる

ふものをえらんで、而も前後の連絡をつけて、全

バラリ　バラリ　バラリ　バラリ

體として、よい詩にしようといふのですから、か

(大正幼年唱歌第八集)

「お屋根に霰がふる」と「お手々ひろげて」と
は同じ曲ではありませんが、アクセントは似てお
まして——しかも日本語本来のアクセントでない
ものになつてしまひました。即ち、「おやね」のね
があまり強くなつて、

「おや 根に！」

と聞えるのです。「おや」は感歎詞に聞えるのです
しかし、霰が降るのですから、「オヤ」根に降つ
てゐる」のでもありませんからとて我慢する事に
したのでした。板廂などに降つて来る霰でなくて
も、バラリとコン／＼との二つの感じが、霰に相
違ありませんから此の二つの擬聲を多く入れまし
た。そして元來曲が、如何にも描寫的で、よく此
の氣持をあらはしてゐましたから——のち私は
『コンコロ踊』といふのも作りまして、これには、
「コンコン、コロコロ、コンコロコン」といふ様
に、思ひ切つて、擬聲を入れましたほど、私には

霰は、降つて来るや、踊りまはる様に思はれて仕
方がないのです。また

お手々をひろげて霰を受けよ

とは申しましたが、お手々を擴げた位で、霰は受
けられるものではありません、私共は幼兒、今の
エプロンの代りに前掛をさせられてをりましたか
ら、すぐ、前掛をひろげては受けました。しかし
今は、エプロンをひろげるとも申されませんので、
「お手々」にしました。降つてゐる霰は、如何に
も多く見えますが、實際は、一寸平方に一粒なん
て落ちてはゐないのです。横から見ると、重なり
合つて見えるためか、ずゑ分、密に降つてゐる様
に見えるのですから、お手々の上になつて、幾粒
も入りさうなのです。これは幼兒の直感です。そ
れを考へていたゞかないと、あまりに低能兒の歌
になりさうですから、特に、附記いたします。

疊み紙

小松耕輔氏曲

一、四角な紙を いろ／＼に

疊んで行けば 面白い

帆のある船や 無い船や

胃や 鶴や お三寶

狐の面も 出来ました

二、四角な紙も 氣をつけて

疊んで行けば 面白い

まるまるまるに まんまるい

大きな林檎も 出来ました

あやしきうでも 食べられぬ

(大正幼年唱歌第八集)

此の作業をば、もと「折紙」と心得てをりましたところ、その道の方にさゝましたら、「をり紙」は

「織り紙」に聞えるので「疊み紙」といふのだと教へて下さいました。しかし、何うも「折り紙」といふ方もあり、大小様々の四角の色紙に「折り紙」とかいて賣つてゐるかとも思ふのですが、ほんとは「疊み紙」なのでせうかねえ、少しく心もとない事です。

さて、第一節は、一枚の紙、同じ大きさの四角な紙が、少しづつ違つた疊み方で、全然別の物になる事をいひ、第二節では四角な紙が、圓い林檎になる不思議をつかみました。あまりに、材料が稀薄ですけれども、その不思議は、力強いものですから、その爲に、一節凡てを興へるだけの値もありませうとて。

さて、その第一節の末行と第二節の第四行とを少し變へて、次の様にしては如何でせうか。

一。四角な紙を いろ／＼に

疊んで行けば 面白い

帆のある船や 無い船や

胃や鶴や お三寶

狐の面も すぐ出来る

二、四角な紙も 氣をつけて

疊んで行けば 面白い

まるまるまるい まんまるい

大きな林檎も すぐ出来る

あいしさうでも食べられぬ

實は「すぐ出来る」のではなく、「樂たのしみに出来る」

とも謂ひたいのですけれど、曲もきまつてゐまして、字脚を變へる事は出来ませぬから、少し不徹底でも「すぐ」としました。でなければ、「よく」でせうか。

白熊

梁田貞氏曲

一、動物園に 熊がある

大きな白い熊がある

いつも二匹で檻の中

檻は 大きな鐵格子

格子の外では 多勢の

見物人が 立つてゐる

二、熊は一匹 池の中

ぐるぐ／＼廻つて泳いでる

兩手をさ／＼へた一匹は

ブラ／＼首を振つてゐる

格子の外では 多勢の

大人も小兒も不思議顔

(大正幼年唱歌第八集)

此のやうに表現の不熟がありました。が、今は、東京の動物園の白熊の所ならば、不熟でなく、此の通りで有り得る事になりました。しかし、多くの熊の檻には池はありません。池といふほどの水

はありません。池どころか、小さな／＼水溜りな
のです。それですから「池」の中でなく「水の中
なのです。そして、次の

ぐる／＼廻つて泳いでる

も少しく大きすぎるのですが、「水の中」といふ程
の小さい水溜りであつても、熊は、よく泳ぐので
した只如何にも、これは、池でない方が、一般向
だと考へられます。

○

幼児に理解される詞でなくては、幼児の歌に入
れて作つてはなりません。抑もその、幼児の言
葉といふのが、少しく、大人にとつては意外な場
合があります。幼児と共にあるものにとつても、
時々、此んな問題についての根本を覆へす事があ
ります。私自ら、毎年の夏を片瀬の海岸で暮した
のは大震災前の三年間でしたが、ある夕方、幼児
達に

「散歩に行かうよ」

と申しましたら

「どこへ」

と問ひますので

「さ、どこにしよう？」

「……………」

皆、だまつてゐますから

「濱邊へゆかうか」

と、私が申しましたら、大きい子供が

「え、」

と少し氣のない返事をしました。ところが、小さ

いのが

「はまべへゆきませう／＼」

と、非常な賛成なのです。

さて、街路小一町、路次を抜けて、砂山を越え
て、海岸へ出ましたところ、午前と午後と二度づ
／＼泳ぎに来る所ですから、珍らしくもなく、只私

の手につれられるまゝに、ついて歩いてゐるので、私は、海の風をよるこび、少しの波のうなりにも、繋いである小船の揺れることや、渚の砂の上に匍ひよる様に、また手を伸べて来る様に、波の子供一かたさへ興じてゐましても、幼児等は、そんな面倒くさい事は、氣にもとめないで、興なげの面持

すると、一番小さいのが

「早く行きませう、はまべへ」

といふのです。私は、笑つて

「はまべへ来てゐるぢやないか」

と申しますと、幼児は、何と答へたでせう、

「何だ。はまべつて、どこかと思つたら、かいが

んの事か」

幼児は、濱邊の事は、ちやんと、「海岸」といふ言葉で、百も知つてゐたのです。しかも、若き父は

——つとめて、「幼児の了解」を氣にしてゐる心得

深き父は、海岸といふ漢語調を避けて、特に「はまべ」といふ日本語を使つたのでした。ところが意外にも、幼児達は、はまべといふ語をこそ知らなかつたのです。

そこで、「鐵橋」は「くろがねのはし」では分らず、「汽車」は「陸蒸氣」では分らないのです。

かくて、私は、次の歌詩の中に、大膽に、しかし、細心に、幼児の日常語ですから、「全滅」などといふ漢語調を入れました。幼児は「戦争ごっこ」をして、常に「開戦」と叫んでは陣地から飛出して突撃するのです。

一、大砲ガラガラ曳き出して

ドンドン打ち出す勇ましさを

大きな山も崩れるやうな

大きな音よ 勇ましや

二、砲臺ガラガラ崩れ出す

ドンドン逃げ出す敵の兵

逃げ出すやうな腰拔兵は

全滅させよ 狙ひ打て

(大正幼年唱歌第八集)

同じ言葉が、一つの曲の中に出る時は、せい／＼、同じ曲譜にあてゝおきたいのです。さうでないといふ、歌詞を誤り、また、節をさへ誤り易くなります。

舌切雀

梁田貞氏曲

「全滅」もすこし氣にかゝりましたが、腰拔兵」

も少し亂暴でせうか。しかし、男兒の歌として、

よいと考へてをります。

次に偶然の成功は、「ガラガラ」と「ドンドン」

とが、二様の意味に、同じ曲譜につかへたことで

す。

大砲ガラガラ曳き出して

砲臺ガラガラ崩れ出す

ドンドン打ち出す勇ましき

ドンドン逃げ出す敵の兵

一、舌切雀のお土産の

軽い葛籠を爺さんが

お家へ歸つて開けたらば

ピカ／＼ギラ／＼金銀や

いろんな不思議な寶物や

きれいな着物や お道具が

お山のやうに はいつてた

これは 大した寶船

二、舌切雀のお土産の

重い葛籠を婆さんが

歸りの途中で開けたらば

ゾロ／＼ノコ／＼蟻螂や

蝮や毒虫 墓入道

三つ目の小僧や妖怪が

後から／＼匍ひ出した

これは たまらぬ助け船

(大正幼年唱歌第九集)

童話の中の善玉悪玉、はつきりとした對照の明

快な面白み、それを歌にすれば、二節にしか作れ

ませぬ。しかも筋の面白さの他に

ピカ／＼ギラ／＼

ゾロノコ／＼

の二つだけでも、前者は、ピカとギラとの交錯

が、如何にも、プラス、マイナスの痛快さを味は

せませぬ。ピ」と「ギ」とのイ列の音の鋭さに對し

て、「カ」と「ラ」とのア列の廣やかさが、交互に

織り合つて、目まぐるしい感じを如何にも豊かに

示します。それに反して、ゾロ／＼ノコ／＼は、

全部がオ列の音ばかりです。その連續は、前者の

目まぐるしさ比して、あくまで、鈍重に而も無

氣味な連鎖です。また、

これは 大した寶船

これは たまらぬ助け船

の二つとも、「タ」の音の併用で、歌ひよくなつてゐ

ます。

此の歌曲は、十數年前、作曲者自ら、度々獨唱

されたものです。猿蟹合戦」と共に、當時、稀有

のものでした。今でも、幼兒を悦ばすこと多大で

あるときいてをります。只、「歸りの途」中といふ

言葉を何とかしたいと思つて氣にかけてゐます。

永觀堂幼稚園夏期林間學園の概況

永觀堂幼稚園

緒言

「蒲團着て寝たる姿や東山」と讀まれてゐる、三十六峯の一つなる聖峯の麓、禪林寺永觀堂境内に、大正天皇御大典御下賜の建物（朝拜殿）を應用して、昭和五年九月十日禪林婦人會の事業の一つとして、永觀堂幼稚園を創立し定員を六十名として、瓜々の聲を擧げた。

かゝれば其の後、どうかして早く完備させたいといふ努力の結果、順調に肥立ちて本年五月、百餘坪の増築と共に定員を百二十名に増加し、目下定員を超過し居れり。而して去る七月二十三日よ

り八月十三日まで、山紫水明自然の美は兒童の遊園として、此の上もない背景を有する本園に於て、園兒を中心とし市内二十餘の小學校幼年級の參加を得て、百八十餘名の夏期林間學園を開いた。こゝに其の狀況の概要をありのまゝ、いさゝか述べて見やう。

自動車通園

本園は本年四月十日より、遠方より通園する幼兒のため、自動車通園の途を開き、毎日數十名の幼兒を園の徽章を染めぬきたる、紫旗を翻せる幼稚園自動車に乗せて通園せるが林間學園中にも此

の自働車に便乗させて九十餘名の子達を送迎した京都の目ぬきの大道路を無邪氣な可愛らしい子達を乗せて馳せた、随分人目を引いたこと、交叉點の巡查さんに無邪氣な聲で「お早やうさん」とかけられては、どんな警官も「エヘヘ」と笑んでゐた、幼児は園にて指定したる市内數ヶ所の小學校其他の場所に集合、或は距離の都合により個人の家まで行く所もある、嬉々として日々自働車で往復する幼児の、そのうれしさうな顔は、とても筆には現はせない。

幼児の登院と朝禮

朝早い子達は七時すぎより三々打つれ境内の紅葉の下を、そゞろ歩き大きな放生池の鯉など見ながら園に到着、それ／＼身のまはりの携帶品を所定の場所におさめ、すぐさま瀧の邊りの砂場いぢり、プランコ、水遊び等思ひ／＼の遊びにうつ

る、その内自働車組の幼児や小學生が、それは／＼元氣な聲で「お早やうございます」といつてすぐお山の運動場で自由遊びをする。

午前九時に一同講堂に集まり朝の儀式にうつる式は君が代合唱に始まり、續いて御眞影奉開、合唱終るや、一同最敬禮、續いて御眞影奉閉をなし、次ぎに園長諸先生との挨拶を終りて、上着を脱ぎすぐ東運動場へ行き、一同ラヂオ體操などをなし、次に南運動場のお山に登り、朝の清淨なる空氣にふれて、小學生はそれ／＼學習の宿題にとりかゝり、時間割によりて各々學科を指導す、幼児は健康第一主義の下に、お山の上、お瀧、松林、小川の邊など、涼しい場所で自由遊戯や、或はお話、唱歌、プール、日光浴等にて時間の經つのも忘れて心身を練つた。

晝 食

父母や師匠の恩を味はへ」

「いたゞきます」

午前十二時半に晝食の用意にかゝる、希望者には本山の賄で新鮮なる野菜料理など、お重で毎日百四十餘のお辨當をこしらへ、お菜は普通五種位とりませ、毎日の支度や後始末は、婦人會幹事数名が毎日お出でになつて、萬端のお世話をして下さつた、その幹事の内には六十七歳とか、七十六歳とかの老人もあり、盛夏の折汗だくくのお骨折りを見ては、涙を以て感謝せずにはいられなかつた、随分運動して腹をへらした子達は、先生の手がなるや、始まつたか始まつたかとして運動場の彼處此處から、元氣な駆歩で坂を降り一同集合して、それはく靜かに疊敷の娛樂室に順序正しく座る、日々幾多の參觀者、保護者も、食事の時には兒童と共に座につき、園長中央に座したらば、一同箸箱から箸を取り出して兩手に持ち之を捧げて、次の歌を園長の發聲につれ

「箸とらば天地御代の御恵み

と稱へて、みんな楽しく食事をなす、食事終らば一同箸箱を兩手に捧げて「ごちそうさま有りがたうございます」と稱へて、年長から順序座を離れ、新案の含嗽場にて口をすすぎ、箸箱は整理戸棚に納め、辨當は帽子掛けにかける。食事の早いもの遅いものゝため種々の蓄音器を聽かせた。

晝食後の遊び

食事後はしばらく心を靜かにせしめたる後、自由遊戲にうつる、プールの水遊び、お瀧に打たれ、砂場の砂いぢり、さも面白さうに暑さも打ち忘れ、殊に小川の流れに水泳着のみ、丸木を浮べて枕とし、さらく流るゝ水の音さゝて寝ね、更にその身を砂場に横たへ、日光浴に餘念のない兒童や、父兄達も流れによどまぬ水の邊りのベンチに

腰うちかけ、涼風に誘はれて午後はウト／＼と睡りを催す方もあつた。

午睡は涼しい本山の本堂に設けて、一般に形式的な晝寝はさけて自然に委せた。

其他の遊び

或時は小學生に年長の園児も加へて、東山登りにシャツ一枚となりて、見るからに一同元氣満ちて愉快で、園長が先頭に中央と後尾に一名づゝ先生がつき、父兄の方も珍らしい處の山登りといつて、喜んで行かれた、東山の頂上で京都市街を遠望し、一同思はず大きな聲で萬歳を唱へるなど何んとも云へない光景であつた、歸れば麥湯に咽喉をうるほす有様は筆で表はせない。

お茶の水附屬幼稚園の考案だとか申す、人形芝居を昨年十一月に購入し、この林間學園中に二回觀覽せしめた、先生も近來大變に上手になつて、

幼児も小學生も面白がつて非常にたのしんだ、あちらこちら幼稚園を時々拜見する、あの劇よりかこの方が眞の幼稚園的だと思つてゐる。



七夕祭には前日に一同が、南禪寺僧堂の竹林からもらうて來た、大きな竹を二本たて、五色の紙を笹にむすびつけ、北運動場の隅に植立し、當日はその前に色々のお供物を高い臺の上に並べて

午後一時より小學生が中心となりて、談話、唱歌、遊戯等の自治的な練習をなした、本山から大西管長さんもお越しになつて、兒童の無邪氣なのに笑つてゐられた、その外多數の保護者も參られた。

八月六日には日本童話聯盟主事の松美佐雄先生が、丁度京都に立ち寄られたので、大塚喜一先生外一名と共に、お出で下さつたので、午前午後にわたり、誠に幼兒にふさわしい、お話を承ることを得て、一同は非常に仕合せに感じた、その外京都童話教育研究會や銀の壺社の諸先生が、前後六回に亘りお話を聞かせて下さつて、何れの場合にも幼兒や小學生一同が、靜かによくきいて少しも退屈の様子を見受けなかつたのは、不思議な位であつた。

八月三日の午前は會員平安神宮へ參拜し、殊にお神苑内にて二、三の記念撮影を許された、其の外動物園、疏水、水源地等の見學も大變によろこ

んだ。

十二日の最後の茶話會に於ける、小學生の獨創的劇は殊に人目を引いた、尙ほ林間學園中に於ける兒童の粘土作品並に自由畫などを陳列せしに、その着眼點、獨創的なることなど、なか／＼感賞の價値あるもの少なくなかつた。

おやつとお歸りの歌

從來本園では全然おやつは與へないのであるが林間學園中は午後四時まで長い時間の事であるから、保健顧問小兒科専門岡部理吉先生と相談の上、午後三時に一回與へることにした、與へる品も同顧問の指示に従ひ、カルケット、ビスケット、牛乳、せんべい、いも等で別に嫌ひなものはないが、只だ牛乳は若干嫌いなものもあつた、いもは、それは大變によろこんだ、子供のすきないものかな——と思はれた位であつた。

身體検査

十二日の最後のおやつは、小學生はそれは「今までにない、ビスケット、をゆるくたべて」おやつのためおさめ、また來年もこゝてたべるのだよ」と話した兒童の心中……、小川にて小蟹をとるやら、うなぎをとるやら、鯰をとるやら、しじみをとつて大よろこび、又はカブト蟲、カタツムリ、などもとつて自然の觀察は居ながらにして出來るから、一日も短かくすごして、午後四時のお歸りの式にうつる。

一同は順序よく講堂の席につき、お歸りの歌をうたひ、携帶品、身のまはりを整頓して退園す、お迎ひの自働車は玄關前に兒童を待つて、明日をたのしむ子達を乗せて四時過ぎ、さようならさようならの楽しき連發ではせてゆく、一日の重き任務を終へた先生は、その日の整理や、翌日の打合、その他の要務で毎日々々七時前には、歸ることは出來なかつた。

林間學園の始めと終りに保健顧問の外、京都府立病院内科、小兒科より三名の専門家の應援により、精密なる身體検査を行つた、殊に大便、尿の狀況まで見られた、最後の検査の結果によれば、兒童の健康増進は確實であつて、殊に比較的虛弱な子達の始めと終りにとつた寫眞を比較して一見明白である。體重は二キロも増加した者もあるが、大部分は一キロ前後である。要するに林間中に清淨なる空氣浴が、如何に幼兒の身體を健康にするか幾多の著しき實績を認めて居るも、茲には略して何れ専門的に調査中であるから、その完成を待つて發表するつもりである。

齒は一般に不良で、蟲齒は八十五「パーセント」以上に達して居る、齒の衛生習慣は幼時の時代に涵養するが肝要なので、本園はこの點に着眼し、

京都府立齒科大學教授、同附屬病院齒科部長、醫學博士本永七三郎氏に齒科顧問を囑託し、九月の保護者會に於て、「蟲齒のお話」に就いて通俗的に有益なるお話があつた、要するに母の衛生思想を向上し、園の齒科施設と家庭との協力を待つて、齒の衛生を根本的に進めたいのである。

本園は殊に虚弱な神経質などのお子達が、まだ入園日淺いのに漸次健康上著しき良結果をもたらして父兄の方からも大變に喜悅せられてゐる、母親につれられて初めて園に來られたお子達が、歸ることを嫌はれ僕はこゝに居るから、お母さんにかへれと言はれる言葉に母親も、あつけにとられてゐられることもある。小學生ももつと／＼林間があればよいのにと、口々に申出た。又保護者からは期間を八月末日まで延長して呉れとの申出があつた、保護者の申出では同情すべき幾多の理由があるが、一方園の方でも夏を無休暇で押

し通すことは、色々の差支へがあるので今回は豫定の通り終る事としたが、將來は大いに考慮すべき問題であると思つた、要するに色々の點から考ふるに、本園の環境が兒童の遊びに此の上もない樂園らしい、自然の力は實に恐ろしいものだ。

修了

いつのまにか最後の十三日になつた、午前十時左記の順序で修了式を擧げた。

- 一、一同敬禮
- 二、君が代合唱
- 三、御眞影奉開
- 四、一同最敬禮
- 五、勅語捧讀
- 六、一同最敬禮
- 七、御眞影奉閉
- 八、開會の辭
- 九、園長挨拶
- 一〇、園兒の挨拶
- 一一、小學生の挨拶
- 一二、保護者總代の挨拶
- 一三、園歌
- 一四、閉會の辭

當日は蒸し暑い折柄に、保護者の方々多數であ

つた、幼児、小學生の挨拶の可愛らしい、天真爛漫な無邪氣な表現には一同感動せしめられ、婦人會員もうれし涙にむせんでゐられた。

次に本山の本堂前の石段で、一同の記念撮影を終つて、本山の本玄關より御堂に參詣した、そこで大西管長さんの讀經があつてから、兒童へ

「幼兒は車の心棒の様なもの………」とのお話を承つた、そのあたり線香の香もゆかしく白から合掌の心におちつく、一同は打揃つて、みかへりあみだ様へも參詣した。

兒童と保護者との會食

次に本山大廣間にて、兒童、保護者約三百五十餘名が一同お膳について晝食をなす、園長の發聲で箸らば……の歌も見事であつた。保護者一同をびつくりさせて、折から空がかき曇つて大驟雨、丁度食後の休憩で互に自由に話しあひ、兒童

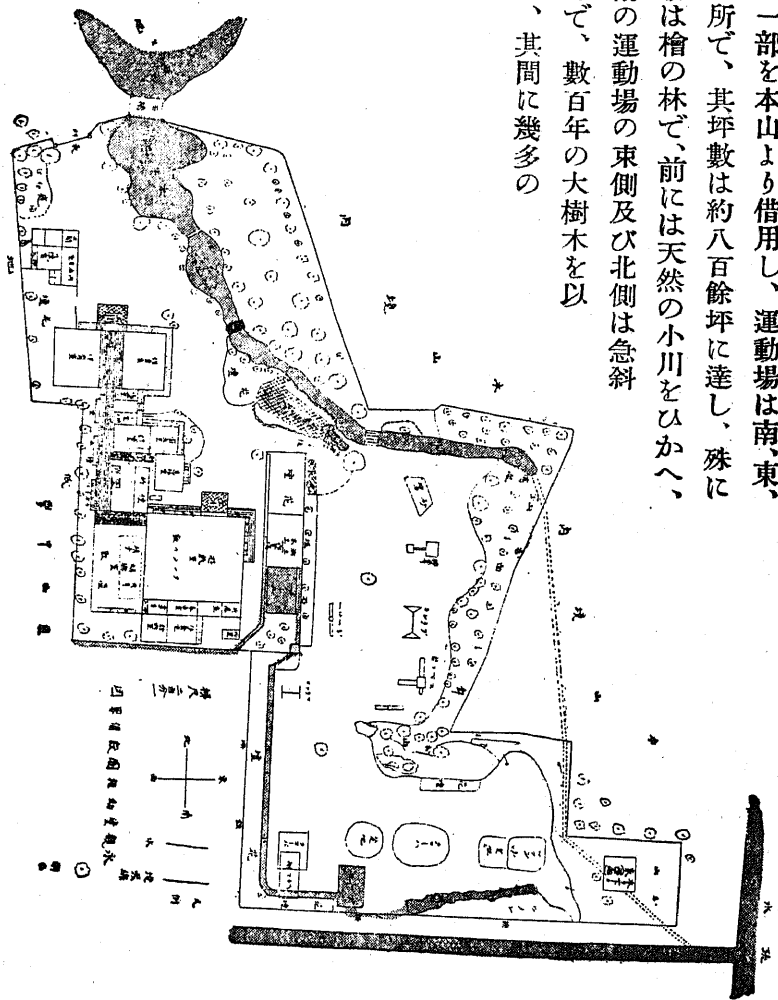
も記念のお菓子を手にして、皆んなのもの座敷の何處となくあそび、雨のやみまでやすんでゐた、午後二時頃雨はやみ自働車は、兒童と父兄を残らず同乗せしめて、さようならごさげんようとして、歸宅せしめた事は愉快であつた。

今度の三週間の林間學園は、小學生と園兒の合同ではじめて試みた事で、養護、訓練上からいろく〜と心配してゐたが、實際取扱つて見て、何等不都合な點なく、何等のいさかきもなく、日々愉快に遊んで、たゞの一人も健康を害したり、怪我をしたりするものなく、無事終了せしことは全く神明佛陀のお恵みによるものと、深く感謝する次第である。

本園設備の概要

この機會に於て、本園設備の概要を述べさせて頂かう、位置は京都市左京區永觀音堂町の、永觀

堂境内の一部を本山より借用し、運動場は南、東、北の三ヶ所で、其坪数は約八百餘坪に達し、殊に北運動場は檜の林で、前には天然の小川をひかへ、東及び南の運動場の東側及び北側は急斜面の高地で、數百年の大樹木を以て蔽はれ、其間に幾多の



楓が混在して、新緑紅葉の頃は實に美事なものである。

(一) 建物に就て

- 一、遊戯室 四十九坪の板張に、だんつう敷き御下賜品そのまゝである、南側中央に奉安室と其兩側に三個の附屬室を有す。
- 二、娛樂室 二十二坪の疊敷。
- 三、保育室 二十四坪(二室)
- 四、廊下 二十六坪の板張りで色々の保育用に應用す。
- 五、應接室 五坪。
- 六、職員室 十坪で園長室と保姆室に分る。
- 七、醫務室 八坪で齒科と内科に分る(目下内部改造設計中)
- 八、其他 標本室、含嗽場、湯沸場等。
- 九、小使室と附添人控室は表門内に別建物と

せり。

(二) 設備に就て

- 一、運動場 三ヶ所で約八百坪。
- 二、大砂場 一ヶ所で東運動場の鶯瀧の附近であり。
- 三、プール 三個。
- 四、小川(人工) 長さ約二十五間。
- 五、小川(自然物) 長さ約三十間で鶯瀧の流れなり。
- 六、花園 五ヶ所。
- 七、大鳥籠 一個で長さ約四間幅約二間で中央に小川の流れを引き入れあり
- 八、水族館 三個で小川より水を引けり。
- 九、兎の家 一個。
- 一〇、放生池 鶯瀧の下流で園の一部となせり
- 一一、其他多數の運動具及び粘土、木工場等。

(昭和六年九月十五日)

夏季學園

日本大學幼稚園長 山田 仲子

五六

名稱を、小學生が半数で御座いましたので夏季學園とい
しました。

夏季施設といへば大抵は海濱學校とか林間學校
とかで全く父母の許をはなるゝか、それも大抵は
小學上級生に限られて下級生や幼兒の爲めに考慮
せられたる施設の殆ど見られぬことは誠に遺憾に
存じて居りました。それでどうかして之等の點を
補ひ、

父兄が安心の出來得るやう、

暑い長いお休みを子供の心に倦怠を來させぬや
う、規律正しく習慣づけられた起居を助長し、身
體と精神とをよりよく健かに伸ばして行きたいも

のと思ひ、倉橋先生、その他當町小學校長の御指
導と御鞭撻とを得て左記の通り開催いたしました
次第で御座います。

施設概要

- 一、場所 當園内
- 一、期日 八月三日より二十九日まで(四週間)
- 一、資格 本園兒及び一般の滿五歳より尋常二
年まで

二、定員 七十名

一、費用 參圓(すべてを含む)

設備

園舎、園庭、各種運動具、外にボールを新設しま

した。

プールの位置

北と西とを脊負ひかぎの手に建られた園舎に添つて東と南の日光を充分に受け東南二方は生垣を以て圍ひプールの出入は園舎の廊下より行ひ管理を容易にいたしました。

形状

廣さ十六坪、深さ七寸より二尺まで、底面傾斜尋常五六年位までの數種の泳法可能にして又幼児にも危険ありません。

用水

地下三百尺の絶對無菌認可飲料水モーターにより供給し又絶えず噴水により新陳代謝を計る。

製作及び經費

周圍及び底面を厚さ五寸のコンクリート作りになし經費二百五十圓を要しました。
但し井戸及モーターは以前備付のものを使用す

收容兒童

幼稚部、四十名

内譯 當園兒二十七名

一般幼兒十二名

他幼稚園兒一名

小學部、三十六名

内譯 一學年二十名

二學年十四名

三學年 二名

町別 杉並町、井荻町、中野。

學校別 杉並第五、杉並第一、杉並第七、杉並第

三、程ヶ谷、麴町富士見

當園兒の半數は家族と共に避暑或は旅行等にて大半の出席を見なかつたことは残念で御座いました。小學部に三年二名入園許可せしは弟妹の都合による。

入園許可

入園許可は身體検査により八十五名の志望者から右の七十六名を決定いたしました。

身體検査はトヲホーム、皮膚病などの傳染病に重きを置いていたしました。

保育關係者

園長 一 保姆 二

囑託 三 補導 五

囑託醫 一 使丁 一

實施日課要項

午前七時三十分より、幼稚部は十一時五十分まで

小學部は午後三時三十分迄

朝會七時三十分に始り、訓話、ラヂオ體操。

次に毎朝健康診斷を行ひ、小學部は學習に、

幼稚部は豫定による保育に入る、プールは午前十時半より一時間、午後は一時半より二時半までと

し、其の間體育運動、遊戲、音樂、童話、自由遊

び等適當に指導實施す。

又午前十時に各兒持參のキャンデー類少量を間食させ十一時五十分晝食、終りて幼稚部は歸宅、

小學部は一時まで午睡、午睡は神經質の子供やふだん習慣なき者には靜かに童話を聞かせては目をとぢさせるやうにいたしました。身體に故障ありて水泳出來ぬ子供にはそれ／＼適當の遊びを與へるやうにしました。水泳の前後は必ず準備運動整理運動をいたさせました。

プール使用の實際

衛生上の處置

一、毎朝健康診斷により個人入水の可否。

一、水泳着、水泳帽を着用せしめ、耳には綿栓を施したるも馴るゝに従ひ水にもぐるやうになり功なくなりましたので水から上りました後一人一人に脱脂綿を以て耳孔を拭つてやりました。

一、プールにより上りたる時は直ちにかはさた

るタオルにてふき取り毛糸ネル等の腹巻きをいたさせ冷えぬやう注意いたしました。

一、プールの周囲には數個の痰壺を備付け又不斷に布網にて塵埃を抄ひ取り一度入りたる水はクロルカルキにより殺菌し又一週二回(水、土)は必ず全部換水しました。

一、身體は常に清潔にし水泳着は毎日かかはるがはるに乾燥したるものを持參さるゝやう。
又寝冷え其他食事等については家庭と連らくして注意いたしました。

水泳指導

特に泳法に熟練せし男教師二名にて指導をいたし始めの一週間の二三日は一回入水時間。

幼稚園は三分

小學部は五分

點鐘合圖にて交々泳がせるやうになしプールの周圍にて日光浴をいたしながら休息をさせ漸次馴るゝに從ひ時間延長し二週目からは幼稚園にても七八分位までにいたしました。

幼稚園には基本練習とか正確なる教授は出來ませんが浮輪を用ひれば大半は一人で泳げるやうになりました、小學部の三分ノ一は二種位の泳法可能になり三年生は數種の泳法を立派に出来るやうになりました。

實施行事

開催以來天候に恵まれ實に三週の間は一日の雨天もなく兒童は嬉々として水にたはひれ次第に皮膚の色は黒色となり見るから元氣あふるゝばかりでありましたが四週目には少しく天候變りましたのでプールをやめて豫定の行事に入りました。

先づ映畫の朝をいたしました、御暑い折からとて夕ならで朝にいたしました、兒童は朝早くから大よろこびで出てまゐりました、陸軍々用鳩養成所、鐵道省、内務省の後援を得て三時間に餘る長時間も朝のうちだけに苦もなくよろこびのうちを終りました。

此の事業と關係なき御話しては御座いますか當幼稚園にては五間に十間の講堂に暗室設備をいた

して御座います。兒童には目より入る教育の早道なることを思ひまして度々一般にも公開し社會教育の一端にも資したき考ひで御座います。

園外保育、園外學習、森の童話會、近郊ピクニック、神社參拜。

之等は前の三週の間にも二三回開きましたが周圍が自然に抱かれて居りますだけ至極簡單に出来ました。樹木生ひ繁る神社も近くチクオンキやオルガンを持ち行きて木の間をあと廻つたり又格別の樂しみを得られました。

運動會、これも又面白い催しでした。

職員總がかりで前夜のうちに園庭はテントや萬國旗に飾られ中央には三〇メートルの可愛い、競技場が出来ました、幼稚園の運動會だといふので家庭からも老若男女ぞろぞろと出て來られました。大人も子供も先生も打ちまじりこの數種の競技、負けても勝つても笑つて過ぐす、賞品も與へなければ景品もない、それでもまけるものかどがんばるえらぞ。

今度は園長先生も出なければだめだよと、とうとう引き出されて園の玄関にある殆ど實物大の郵便受ポストをかつがせられた。兒童にとつてはさぞかし樂しみのページであつたことと思ふ。

二十九日いよいよ最終日、數百に飾る來賓を迎へて學藝會を開きました、日頃は遠慮勝の子供でも知らず／＼引き入れられて數回ステージに立つことも出来ました。

ピアノ獨奏、合唱、遊戯、童劇等數十種。

職員のコラス隊も出来ましたし、劇は數番上演されるといふプログラム實に盡させぬ興に名残りを惜しみつゝ四週間の終りをつけました。

かへりみて

酷暑の折の四週間はかなりの長い時日でありましたが子供たちに取つては全くの樂園であつたことと思ひます、ことにプールは何物にもかへがたきまでに喜ばれました。

出缺席の歩合は在籍の二割が缺席になつて居りますがそれも大抵は軽度の咽頭炎位か又は中途よ

り旅行に出しものにて他はことごとく元氣に通園いたしました。

全員の内男一、女一、身體薄弱にて全身を水に浸すことの出来ない者がありました。がたま／＼ひざ位までは水に浸し日光浴と運動とを充分いたさせましたところ四週目には體重も身長も増加し顔の色はおどろくばかりよくなりました。

外に腎臓炎の病後の女子一人ありましたが日光浴と適當の運動によつてすつかり元氣恢復し二週目には検尿の結果水泳を許され四週目にはこれも非常なるよき成績を得られました。

其の他濕疹などの子供もありましたが直ちに快癒しました。

御暑い時に水、大人でも、これ程好ましいものはないと思はれますのにまして子供にはどんなに愉快であつたことと思ひます。出来ることならもつと廣くして危険のないこうしたプールで子供の心に安心を與へて思ふまゝに泳がせてみたいと思ひます。

或る男の子は毎年海へゆきましたが小たんの爲めにどうしても水にはいり得なかつたといふ、それが今年は立派に泳げるやうになつたので、両親も本人も少なからず満足しました。

幼稚園教育を受けた者も受けないものも、小學部は六校もの學校から集りましたのですが少しもお互ひにへだたりがなく目上目下の關係も美しく此の點については全く幸福で御座いました。

こうした楽しい又變つた生活のページが織り込まれたことは必ず來るべき學期の大きなエネルギーとなつてあらはれることと思ひます。

尙これは實現の困難なことでは御座いますが兒童の食事も園にて一樣に仕度が出来たら一層の親しみがあり養育上にも訓練上にも大いに有效ならんと思ひました。今夏は職員の仕事だけ園にて仕度をいたしてみましたが誠に面白う御座いました。せめてお十時に頂くものだけにでもと思ひましたけれどそれもいろいろの都合にて持參をさせました。

何かが眞違つて居やしませんか

東京 聾

婆

- 1 舊教育法に安んじて、新教育法を研究しない人
- 1 新知識を得る、有益な講演會に出席しない人
- 3 時代思潮に伴ふ、新教育の研究をせずして其職責本分に、毫も責任感のない人
- 4 新教育法を修めし若人の保育振りを助けんとせず其舊思想より見て、これを妨げ非難攻撃する人
- 5 人員に限りある、文講に對し其繰り合せ兼る事情のなきに、職員中より代表者を出さない園ある事
- 6 私設講習會に對しても、前條と同様に
- 7 唱歌や遊戯の、種類内容に注意せず、唯其新らしきを競ふて保育に使用する人
- 8 遊戯の振りの、複雑なるものを、幼兒に授くる人
- 9 幼兒の活動性を顧みず、其状態の靜かに、お行儀よきを誇る人
- 10 幼兒の爲し能ふ事柄を、世話焼き過る人
- 11 室内に玩具の木片其他の物の、おちたるを、保育者これを集拾して、幼兒の氣付動作に待たぬ人

12 幼児の唱歌の、時に強く大きな聲を出す者あるも其儘にして、音樂的に導かぬ人

13 幼児の保育上に注意を拂ふも、其衛生上に深き注意をしない人

14 一場のお話によりて効果を與へんとし、未だ善惡の辨別能力なき幼児に、其意味を判斷的に問答する人

15 日々の保育後に於て、其保育のあとを反省して其足らぬ處を補ひ、其過ぎた處を注意せぬ人

16 幼児に與へし玩具手技等の材料の、多きに過ぎしや又は、分量の不足なりしやを省みざる人

17 幼児の氣質の弱き者、神經質の者、亂暴の者に對する取扱ひ振りに付て、保育後の反省なき人

18 幼稚園用の布袋及び用紙を私用に使ふ人

19 幼稚園の小使を時間中に私用に使ひ、これを當然として、公私の別を思はぬ人

2) 近時保育者の服装の柄合荒く、派出な色模様様の幼児の物と選ぶなきを用ゆる者多し、これは其品位の上にも少しく心すべきと考ふるも如何にや

室内掃除法

六六

目白幼稚園 和田 實

近來、小學校の多くは校舎内の掃除を油拭法に因つて行つて居ります。此法は塵埃の飛び立たぬと云ふことに於ては、誠に結構ではあるが、幼稚園の様な小さな子供には、轉んだ際などに油が着物に着き易くて困る。座つたり轉んだりすることの多い子供に、何の心配もなくして、而も、ほこりの飛散を防ぐに都合のよい掃除法のないものかと云ふことは、私が年來、頭を悩まして居た問題でした。昔から、室内で灰神樂を上げた時は鹽を撒いて掃除したものですから、或時は之を眞似て行つて見ましたが、時候の最も乾燥する秋冬の頃には然したる効果もなくほこりは依然として飛散

しました。春夏の様な濕潤な氣候の時には粗製鹽には多少の「にがり」を含んで居るので、空中のしめりを吸収して相當の效力はありましたが充分ではありませんでした。又、老人が茶殻を撒いて、掃除するのを見たことがありますので、之を眞似して茶殻を撒いたり、菜の屑、野菜の屑や木の葉などを細かに切つたのを撒いて見たこともありました。是等は相當に效力がありました。が、材料の濕り加減が六ヶ敷くて、濕めり過ぎては板の間を濡らし、水氣が少くては「ほこり」の吸収が充分でなし、其上、餘り水に浸し過ぎては、材料がふやけ過ぎて、動もすれば箒の先で潰されて、却つて

板の間を穢すことなどがあつて、何うも甘く行きませんでした。且又斯う云ふ材料の細片が時々板の隙間に残留することなどがあると永い間には腐敗して來ることがあつて、却つて、掃除の爲めに大掃除をさせられることなどもありました。斯うした掃除の爲めには随分、苦勞させられました。併し、何としても甘い方法がなくて困つて居ました。然りとて、從來通りの方法で、唯、はたきを掛けて掃くのでは假令、後で拭き掃除をするにしても掃く時に飛散したほこりは、掃除の済む頃には元の通り舞ひ戻つて來るので何にもなりませんし、且此掃除法では子供の一人で二人でも居る時には掃除することが出来ません。雨の降る日など外に出られず、室内を飛び回るので随分ほこりが立つことがあります、之を如何ともすることが出来ません。然りとて何とかしなければなりませんから、色々考へた末、從來の方法中で最も好

かつたものを改良することに因つて、新法を得やうと云ふことになりました。夫れで從來一番よかつたのは鹽でありましたから、此鹽の乾燥するのを防ぐ方法を探つて見ようと思ひ付きました。其爲め初めは粗製鹽に故意と水を少し含ませて行つて見ました。多少の效力はありましたが、床板に滲み込むことが多い様で、餘り良法とも見えませんでした。次に思ひ付いたのは水の代りに一層のこと、「にがり」を使つたら何うかと云ふことでした。そこで、粗製鹽に更に少しの「にがり」を含ませて行つて見ました。ところが是は一番成功の様です。「にがり」の含ませ加減さへ適當にすれば板の間に滲み込むこともなく、ほこりは少しも飛散することなく完全に掃き取ることが出来ました。爾來、此方法を續けて居りますが其爲め、何んな日でも何んなに子供があげられても塵埃の飛散することは絶対にありません。今の所、幼稚園の

掃除法としては最も好い方法の一つではないかと思ひます。此方法で行りますと雑巾での拭き掃除は一週に一度か二週に一度もすれば充分です。尤も、幼稚園内に板の間の少いところや疊其他の敷物の敷いてあるところは一寸考へねばならぬことがあります。夫れは撒いた食鹽にがりを含んだが多少共敷物や板の隙間に残留しますから、其邊が常に多少の濕めりを含んで居て、一方に「ほこり」を收し、飛散を吸収し、飛散を抑へて居る效があると共に常にじめ／＼した感じを與へるばかりでなく、若し履物を履かない場合などには、白い足袋や白い靴下の足裏を穢ぐすと云ふ缺點があることです。併し、必ず履物を履くことになつて居る板の間ばかりのところならば何等差支はないことと思ひます。「にがり」を含ませる程度は粗製の鹽を片手に握つて見て手を放しても形が崩れぬ位の程度が丁度好い加減の様です。餘り含ませ過ぎると板の上に滲みて、きたない感じが與へますから、成る可く「にがり」の少ないのが理想であり

ます。之を掃き始めるときに、成る可く細かに撒いて、ごみを掃くと云ふ氣持よりは寧ろ鹽其ものを掃く積りで掃いて行くと、ほこりは氣持よく鹽に吸ひ付けられて、ごみの小塊となつて、コロ／＼と轉がつて行きほこりは少しも飛散しません。分量は掃き始めのところへ一坪に一握り位の分量で澤山です。後はごみ同志吸着して行きますので撒くに及びません。従つて、費用も幾等のことでもなく、油拭きなどに比べたら、遙に、少費用だらうと思ひます。假令、梅雨時に板の間が濕めつて居つても、子供の着物を穢ぐることがあつても、直に洗ひ清めることは雜作ないことで、板の間は二三度雑巾掛をすれば濕りは探ることが出來ます。着物は洗濯すれば何の害も残りません。夫れに、假令、誤つて子供の手につき、口に入ることがあつても、少しも恐れる必要のないもので、油程にも嫌はれる必要はないものであります。何うか「ほこり」の多い幼稚園では此掃除法を御採用あらんことを希望します。唯一つ注意することは此

法に因ると箒の先が「にがり」に染みて、ほこりが付いてきたないですから、掃除の後で、箒の先を洗ふ必要があります。尤も其方法は至極簡單でバケツの中でザブ／＼とゆすぐ丈で充分にきれいにはなりません、是が一つ殖える手數であります。

斯様にして、幾日も掃除して行く中には仕舞には鹽は毎日撒く必要はないこととなります。床上に吸付けられて残りの「にがり」で濕めた「ほこり」が既に多少のにがりを吸ひ込んで居ますから之を靜かに掃き寄せて行くと丁度好い加減に濕めた塵埃同志が吸付き合つて結構堅まつて行きますので、一週に一二度も撒けば充分の様になります。従つて、費用は益少くなつて行きます。昨年十月に買った一罐の「にがり」がまだ半分も使はない位ですから夫れで御察しが願へるでせう。「にがり」の一罐は（石油罐）八十錢でした。是は昨年十月の相場でしたから今はもつと安いでせう。「にがり」の使用法。買つて來た「にがり」は結晶して居ますが、之を四斗樽の中へ高さ一尺位の臺

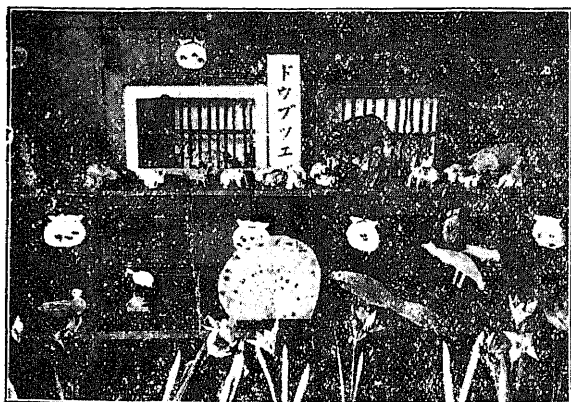
を下に置いて乗せて置くと自然に濕氣を吸収して融解します。此融解液が即ち「にがり」です。之を粗製鹽（六貫目一俵一圓六十錢）に少しづつ含ませて用ゆるのです。にがり一罐に就いて鹽二俵位要りますから、費用は寧ろ鹽の方が餘計掛ります。が、夫れにしても一日一錢位のものでせう。地方に因つて鹽が安く買へる所ならば、費用はまだまだ儉約出來ます。東京で賣て居る鹽は粗製鹽と云つても食用になる鹽ですが、工業用にするモツト／＼粗製のもので差支ないのですから、專買所附近や工業的便宜のある所では頗る安價に之を求めることが出來るでせう。

意外の利益。と思ふことは此「にがり」掃除法を始めてから幼稚園に蚤が居なくなつたと云ふことですが、是は氣が付いてから、まだ日が淺いので確實性が乏しいのですが、何うも蚤が居なくなつた様に思ふのです。板の隙間や部屋の間々など「ほこり」の溜まる所は即ち蚤の發生所であり、すなわち、そう云ふ所が、また「にがり」で消毒されま居るので蚤が發生出來ないのではないかと思ひます。

動物園と水族館

神戸 甲 南 幼稚園

七〇



ボール紙にセロファンを張つた二つの水槽にはめいめい思ひ／＼の魚が一ぱい入れられた。マグロ、鯛、ハモ、ヒラメ、フグ等はいはずもがな。岩の間にはたこや貝類迄這ふてゐる。さんごやこんぶの間を名も知らぬ赤や青の珍らしい魚がおよいでゐるのはさながら浦島さんの龍宮行きを思はせる。

洋服の空き箱に黒いボール紙の鐵柵いかめしい動物の檻が出来た。キリンや虎は檻の中に、おとなしい象や兎、猫は檻の外に、中には子供を乗せた可愛い象も見受ける。あゝまだ／＼足りない鳥がゐなかつた。さあ廊下へ出て観察して來ては九官が出来る。お庭へ走つて見に行つて來ては立派なくじやくや鶴、水鳥、等も出來た。こうして出來た水族館や動物園の前には毎日々々小さいお客様がつめかけてあかず眺めてゐる。そして可愛い金魚鉢や美しく咲いた菖蒲の花がおみやげになるのである。

或る日

東京市京橋區昭和幼稚園 白根美智子

何かしら、カーバイのあそびがしたい。



私達の、僕等だけの世界で、カーバイの仕事がしたい。いや、しないで居られない——。

砂場遊びも面白い。だが砂には抵抗力が無い。遊戯も好きだ。だが、それにはリズムがあり、定ったポーズがある。自分勝手に思ふ存分飛び跳ねる事は許されない。

滑り臺も愉快だ。のぼつては滑り降りる、滑つてはのぼる、いつ迄たつても飽きる事を知らない、だがたゞそれだけ。少しも變化がない。

歌を歌へば氣持は晴れる。けれど、歌ふ時にはお腹の中から湧き出る様な聲を出すわけにはいかない。

積木あそび、これは、自分の身體の二倍も三倍もあるやうな大きい箱積木を、運ぶ、積む。勿論

面白い。全身の力と細心の注意とを小さい腕にこめて、一つ一つ重ね、並べてをくうちに、家が出て来る、軍艦が出来、汽車が出来、家へ歸る事も忘れて真冬でも汗みづくになつてあそぶ、その限らない愉快さだ。

でも——たまには何か違つた事もして見度い。何か、何か無いものかしら？

かうした子供達の心の要求を満してやり度い、十二分に満足させてやりたい、と慣れぬ手もて私は繩をかけ、布をなつて漸く作つた此のたるみこし。

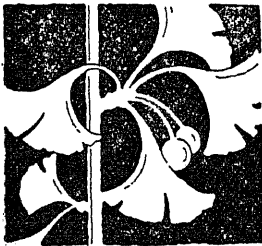
見様見真似で、白鉢巻も甲斐々々しく、ワツシヨイワツシヨイと昇いで歩く。時々立止つては景氣をつける……「ッとおみこしを上下に大きくゆする。喜びに満ちた元気なその聲の間を縫つて、鈴の音が愛らしく響く。

初夏の雨あがりの強い陽射しが、コンクリート

の運動場に痛い程照りつけて、子供達の頭も顔も玉の様な汗だ。それを拭はふともしないで、時々ふいてやる間さへ待ち切れないほど——。

花がさをかぶつた女兒の引く太鼓の音が、ドーン——と身體中に響き渡るのも快し。

「一寸そのまゝ待つて」と真紅な顔が澄ましたところをバチリ。



雜 錄

○幼稚園に關する獨逸法令

獨逸國民福利省にては一千九百三十年七月九日法令を以て幼稚園の設備及び管理に關する要項を告示した。次はその譯述全文である（兒童研究第三十五卷第六號より轉載）

第一 總 體

希望すべきことは公開的保護（保護婦、自治團體看護婦等）と親密に協同してはたらくことである。それによりて幼稚園に收容すべき兒童をば、保護婦等の發見によりて何時にても、これを收容することが出来る。

幼稚園は長休暇の間にもなるべく公開すべきである。

幼稚園の日々の公開の持續は母親の通常の勞働時間に相當して定めらるべきものである。

幼稚園は保養的保護の設備（給食、局所的療養等）をばその兒童に利用すべく試むる事を要する。

安臥療法及び空氣浴を施すことは稱揚すべきである。若し「ゾール」浴を施される場合には 同時にならざる給食の施行は中止せられねばならぬ。

第二 設 備

（甲）容積 容積はなるべく次の限界にあることを要する。

園児三十名までのものにおいて、五十平方メートルの容積を有することを要する（五メートルに一〇メートル）。これには机、椅子を含む、兒童の運動遊戯及び自由作業の場所ともなる。

二室を有すれば更に佳良である。

三十名以上のものにおいて二個乃至それ以上

の室を要する。

兒童一人につきて一平方「メートル」半の底面積と、四乃至六立方「メートル」の空氣容積を要す。窓の面積は少なくとも床面積の五分の一を有し、日光に向ひ、換氣盤、洗濯の出來る窓掛又は錠戸を有することを要す。

通風によりて室内空氣を新にすることを要す。

床面の清潔は衛生的要求に相當して施されねばならぬ。

壁の下半部は洗濯せらるべきものであることを要する。

暖室につきては中央暖室法、「ストーブ」、蒸發皿の用意を要する。鐵製「ストーブ」ならば欄杆を要する。

洗濯室及び浴室 兒童五人乃至十人毎に一個の盥を備へ置くことを要する。その盥には水を流がすか又は汲水桶を備へねばならぬ。

兒童は銘々、手拭、食器を拭ふ布帛及び齒「ブラッシュ」を所有せねばならぬ、さうして、各個兒童所有の手拭と布帛とは他の兒童のものと別々に掛け置く事を要する。櫛も十分に備置かねばならぬ。救急處置を施すための繃帶箱を備へ置くことを要する。

便所 男と女とを別ち、室より離れ、空氣流通をよくすることを必要とする。その座席は兒童十二名乃至十五名につき一個を要し、その高さは二十四「センチメートル」なることを要する。なるべく清潔に保つことを必要とする。

衣服置場 兒童がぬぎたる衣服は特別の室に置くべきである。若し止むことを得ざるときは廊下に置かねばならぬ。

賄所 朝食の「スープ」を煮るため、又湯をつくるために賄所を要する。晝餐のためには相當の設備を必要とする。

(乙)構造 室の構造は家庭の室に相當したものであることを可とし、學校の室らしく見えざるものを可とする。家具は兒童の大きさに相當し、簡單にして取扱ひ易く、洗滌することの出来るものを可とする。

圓机を用ふるを可とする。

二三の遊戯及び作業用具は缺くべからざるものである(價値なき材料を應用すること)

晝餐の後に、横臥せしめることは佳良の價値を存するものである。

(丙)庭園 半ば蔭を有する庭園、或は遊戯場にて砂溜を有するものを要する。若し出来ることであれば近き處に存するところの庭園を借りて用ふるもよろしい。

(丁)指導者 兒童三十名以下にありては指導者として社會教育的に教養せられたる指導者一人を要する。三十名乃至六十名のものにありては、こ

の指導者の外に、同様に社會教育的に教養せられたる助手を要する。大なる幼稚園にありては、なるべく兒童指導婦 (Tugendlerin) をしてその任に當らしめることが必要である。さうして兒童三十名を増す毎に一人の助手を要する。

指導者には一日の内に休息時間を與へ、一年間には合計四週間の休暇を與へねばならぬ。

専門的に教養せられたる指導者は室を清潔することの仕事に當るべきでない。

指導者は専門的に教養せられたる知識と經驗とにより、又親切なる心情の上よりして兒童の教育及び身體看護に當らねばならぬ。指導者は又、母の會、相談、家庭訪問等によりて幼稚園と家庭兩親との結合を親密にする事をつとめねばならぬ。これによりて一は兒童をよく理解し、一は兒童の家庭教養の上に佳良の影響を及ぼす事が出来る。

指導者は常にその地方のすべての保護機關と聯

絡せねばならぬ。

(戊) 醫術的監視 幼稚園は常に醫術的に監視せられねばならぬ。特別の場合には速かに醫術的補助を加ふることを肝要とする。傳染病發生の兒童にはそれを閉鎖すること、又それを開放することにつきて醫師の意見を徴さねばならぬ。

第三作 業

幼稚園にありては、兒童に對して、日中の一定の時間又は全日を通じて、教育的及び衛生的保護を加ふべきである。

兒童はその身體的及び精神的方面を催進せられねばならぬ。兒童には遊戯と作業と、安息と運動とを交替に施して、その全方面の發達を催進せねばならぬ。

兒童が獨立して作業することにつきて特別の注意を拂ふことを要する。殊に喜悅と快活とが幼稚

園にみなざるやうにつとめねばならぬ。

家庭的作業としては兒童に、室内の秩序を保つこと、食器を洗ふこと、諸事を整頓することにつとめしめるべきである。夏季にありては小花壇の作業をなさしめることが教育の方法として善良である。これに併せて室内植物及び家畜の養護につきて指導するがよい。目的のない勞働は避くべきものである。姿勢を不良となし、或は視力を害すところの作業はすべてこれを避けねばならぬ。

學校の任務に先き廻をする事はよろしくない。兒童の身體的看護は日中の仕事を規整する事、皮膚、手髪及び齒牙の看護に注意する事、開放氣中にて體操をなす事、清潔浴を施す事等によりて其目的が達せられる。殊に食事の前に手を洗ふ事及び爪を清潔にするとは必要である。一週一回、頭髮の検査を施す。若し必要なればそれよりも尙ほ頻回これを施すべきである。兒童に齒、ブラッシュ、

を持ちて家庭に歸らしめ、朝早く及び食事の後に
齒牙を清淨にする事にとめさせる事を要する。

(Zeitschrift für Schulgesundheitspflege und

soziale Hygiene. Mai 1931) (終)

○保姆養成機關向上の建議

關西聯合保育會にては今回の學制改革に際し、
保姆養成に關する事項の加はり居らざるを遺憾と
し、種々協議の結果左の通り決議し、京都、大阪、
神戸の委員諸氏、特に上京、東京女子高等師範學
校に倉橋主事とも打合せの上、文部大臣に對し、
左の建議をなし、尙文部當局文政審議會員の諸氏
を歴訪して、建議の趣旨を強調せられました。

建議

今次ノ學制改革ニ際シ師範教育ノ系統中ニ保姆ノ
養成機關ヲ設置セラレンコトヲ請フ

理由

現行師範教育制度ニ於テハ小學校教員養成ノ爲
ニハ師範學校アリ中等學校教員養成ノ爲ニハ高

等師範學校アリ單リ幼稚園保育者ノ爲ニ其ノ養
成ノ機關ヲ缺ケルハ國家カ幼兒保育ヲ輕視スル
モノトシ其ノ制度ノ設定ヲ見ンコトヲ要望シタ
ルコト久シ

然ルニ今次文部省ノ發表ニ係ル學制改革案ニ於
テ猶依然トシテ保姆養成ヲ閉却セルヲ見ルハ誠
ニ遺憾トスル所ナリ吾人ハ我カ國保育ノ進展向
上ノ爲之ヲ默視スルコトヲ得ス

仍テ茲ニ關西聯合保育會ノ決議ニヨリ及建議候也

昭和六年九月二十八日

關西聯合保育會

名古屋市保育會長

大 岩 勇 夫

京都市保育會長

土 岐 嘉 平

大阪市保育會長

關 一

神戸市保育會長

末 正 久 左 衛 門

吉備保育會長

國 富 友 次 郎

右代表者

大阪市保育會長 關 一

文部大臣 田 中 隆 三 殿

定規文注 告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内**
日本幼稚園協會
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵券代用の場合には總て一割増）
 - 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓 二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓 一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい。

發行所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

製 複 許 不
載 轉 禁

編輯兼 倉 橋 惣 三
發行所 東京市麴町區飯田町二丁目五十番地
印刷者 須 藤 紋 一
印刷所 東京市麴町區飯田町二丁目五十番地
京華社印刷所

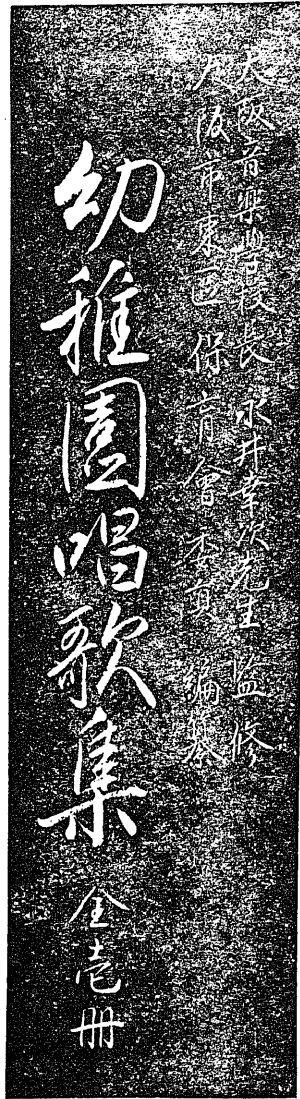
價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ月分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和六年十月十二日印刷納本
昭和六年十月十五日發行
幼兒の教育 第三十一卷第十號

幼稚園の先生がたには絶好の羅針盤！
各園児の御家庭にも是非お備付下さい



大阪育樂館長 永井孝次 監修
大阪市東區保育會 委員 橋本 敬

四六倍版筆記
寫眞凸版印刷
鮮明注意懇切
實費金二圓
送料金十二錢

本歌曲の出版は營利を目的の仕事ではありません。非賣品でありまして、御希望の方に實費でお頒け致しますのであります。

□曲目百曲を〔年少組〕に分け、各月に配當し、伴奏附として、曲毎に〔注意〕事項記載を附録として、幼稚園用曲目約三十曲を掲載して御座います。

申込所

東京・神田・一ツ橋通
教育會館内

株式會社

フレールベル館

(御注文用) 電話九段(33)三八二七番
振替口座東京一九六四〇番

大阪・西區・靱下通
一丁目二十三番地

フレールベル館大阪出張所

電話土佐堀三五八一番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和六年十月十二日印刷納本
昭和六年十月十五日發行

定價三十五錢